

訪日外国人の消費動向

訪日外国人消費動向調査結果及び分析

2019年7-9月期(速報) 報告書

訪日外国人の消費動向

2019年7-9月期(速報)報告書

目次

I 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

- (1) 全目的 …………… 3
- (2) 観光・レジャー目的 …………… 9

2. 訪日外国人の旅行支出

- (1) 旅行支出の構造 …………… 13
- (2) 旅行前支出 …………… 14
- (3) 旅行中支出 …………… 14
- (4) 旅行支出の推計 …………… 16
- (5) 費目別にみる旅行支出 …………… 18
- (6) 来訪目的別にみる旅行支出 …………… 19
- (7) クルーズ客の旅行中支出 …………… 19

3. 土産品の購入実態

- (1) 費目別購入率 …………… 20
- (2) 費目別購入者単価 …………… 20
- (3) 買物場所 …………… 21
- (4) 利用した決済方法 …………… 21
- (5) 消費税免税手続きの実施状況 …………… 22

4. 満足度と再訪意向

- (1) 訪日旅行全体の満足度 …………… 23
- (2) 日本への再訪意向 …………… 23
- (3) 最も満足した購入商品 …………… 24
- (4) 最も満足した飲食 …………… 24

5. 役に立った旅行情報

- (1) 出発前に得た旅行情報源 …………… 25
- (2) 日本滞在中に得た旅行情報 …………… 25

6. 日本滞在中の行動

- (1) 訪日前に期待していたこと …………… 26
- (2) 今回したことと次回したいこと …… 27
- (3) 今回したことの満足度 …………… 27
- (4) 利用した交通手段 …………… 28

「訪日外国人消費動向調査」は、次に示す3つの調査から構成されている(それぞれの調査の概要についてはII編を参照のこと)。

- 【A 全国調査】
- 【B1 地域調査】
- 【B2 クルーズ調査】

本報告書のI編は【A 全国調査】及び【B1 地域調査】の結果を分析したものである。ただし、「2. 訪日外国人の旅行支出」におけるクルーズ客の消費動向では【B2 クルーズ調査】の結果を使用している。

Ⅱ 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	29
(2) 調査の沿革	29
(3) 調査の根拠法令	29
(4) 調査の対象	29
(5) 抽出方法	30
(6) 目標精度と標本サイズ	30
(7) 調査事項	31
(8) 調査の時期	31
(9) 調査の方法	31

2. 用語の解説

(1) 主要項目	32
(2) 支出費目	34
(3) 買物場所	39

3. 調査の結果

(1) 表章事項	40
(2) 集計方法	40
(3) 調査結果の精度	41
(4) 利用上の注意	41

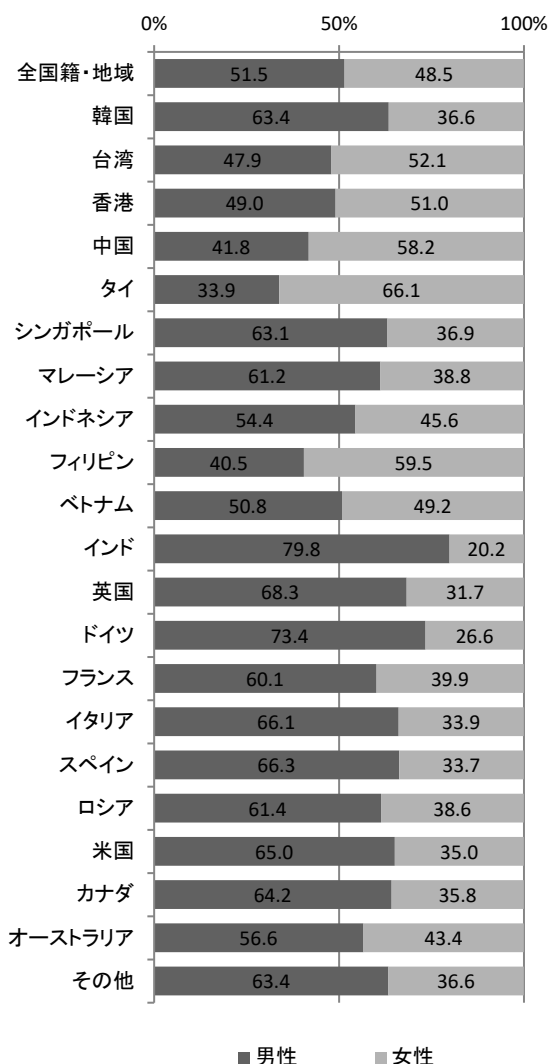
I 訪日外国人の消費動向の分析結果【2019年7-9月期(速報)】

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

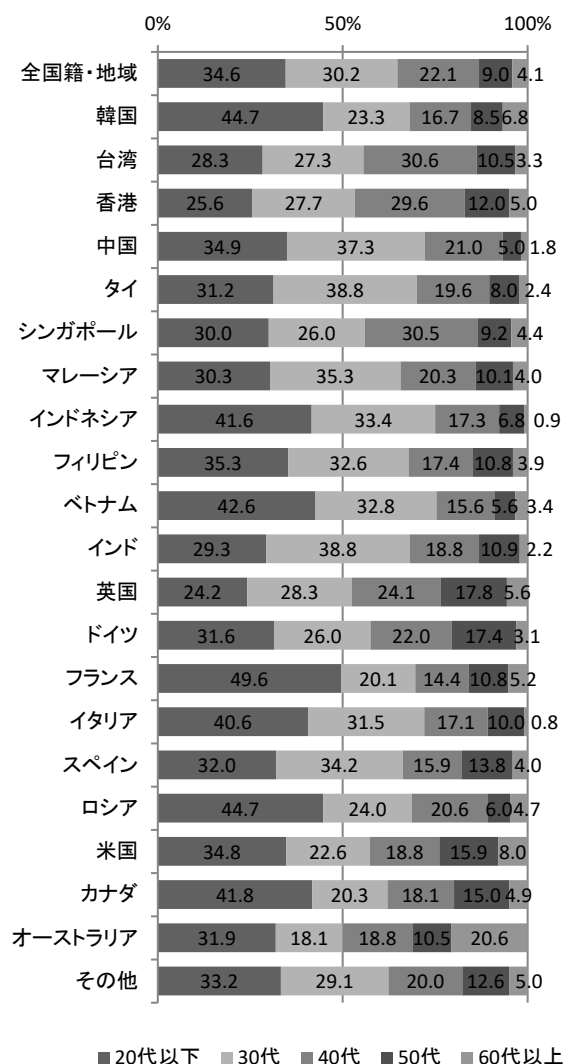
(1) 全目的

- 性別の構成比は「男性」が51.5%、「女性」が48.5%である(図表1-1)。
- 国籍・地域別にみると、台湾や香港、中国、タイ、フィリピンで「女性」の割合が5割を超える。一方、インドやドイツでは「男性」の割合が7割を超える。
- 年代別の構成比は、「20代以下」(34.6%)、「30代」(30.2%)が多い(図表1-2)。(注：年代別構成比には調査対象外である15歳未満を含まない。)
- 性年代別では「女性30代」(15.2%)、「男性30代」(15.0%)、「女性20代」(14.4%)の順が多い。

図表1-1 性別(国籍・地域別、全目的)

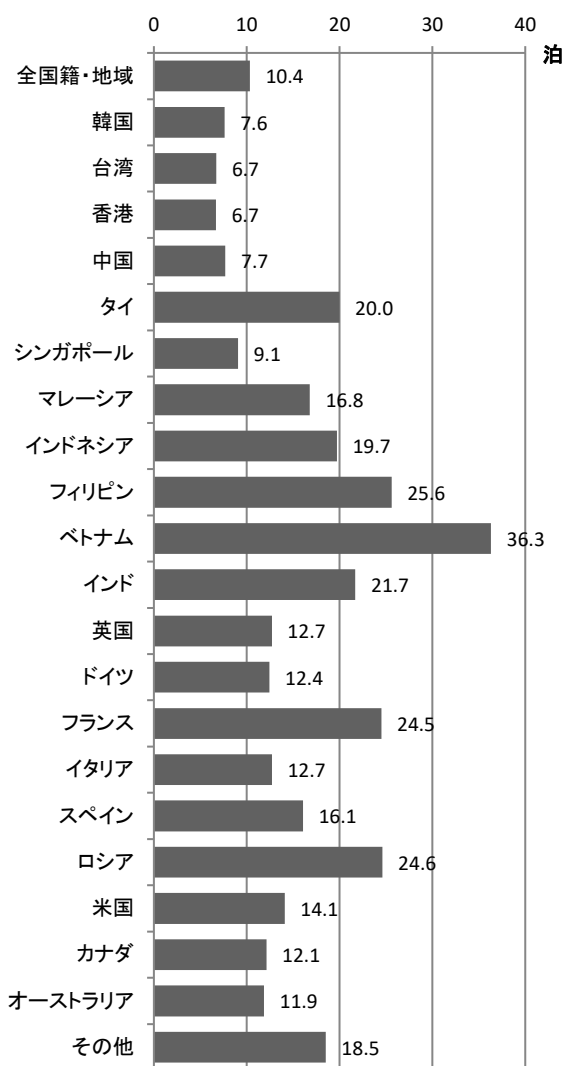


図表1-2 年代(国籍・地域別、全目的)

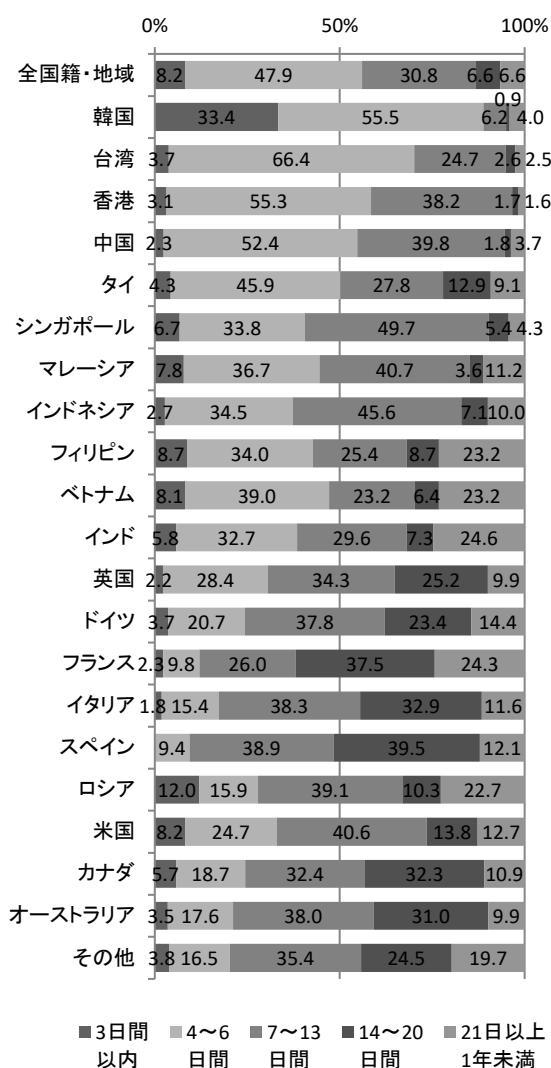


- 回答者全体の平均泊数は 10.4 泊である（図表 1-3）。
- 国籍・地域別にみると、フィリピンやベトナム、インド、フランス、ロシアで平均泊数が 20 泊超と長い。一方で台湾、香港は 6.7 泊と、他の国籍・地域に比べて平均泊数が短い。
- 滞在日数の分布をみると、6 日間以内の短期滞在者が過半数を占める（図表 1-4）。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3 日間以内」の割合が 33.4% と他の国籍・地域に比べて高い。一方、14 日間以上の滞在者はフランスで 6 割超を占めており、他の国籍・地域に比べて滞在日数が長い傾向にある。

図表 1-3 平均泊数（国籍・地域別、全目的）

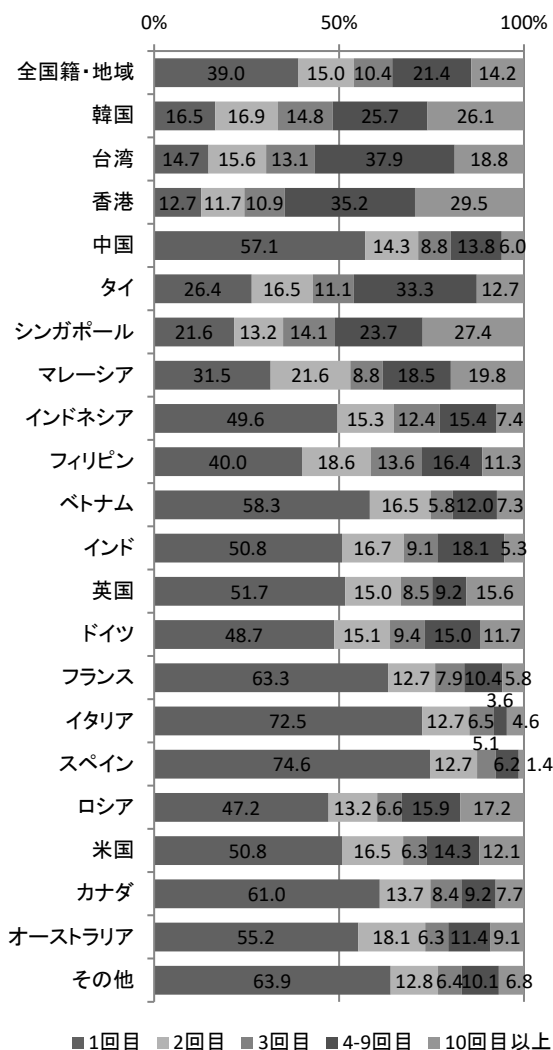


図表 1-4 滞在日数（国籍・地域別、全目的）

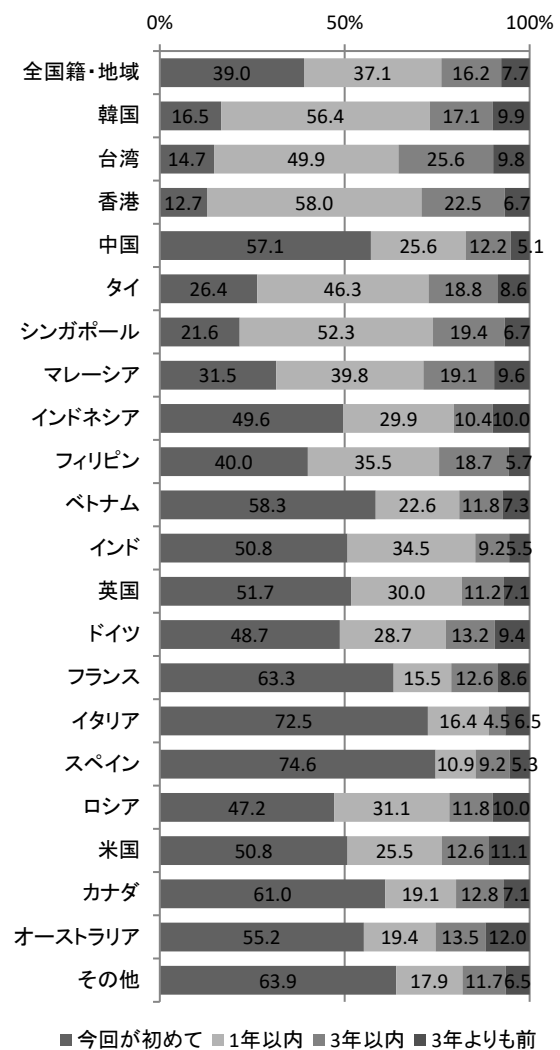


- 日本への来訪回数では、「1回目」が39.0%と最も多い。一方で「10回目以上」も14.2%と少なくない（図表1-5）。
- 国籍・地域別では、イタリアやスペインで「1回目」の割合が7割超と高い。一方、韓国や台湾、香港では「1回目」の割合が2割未満、タイやシンガポールでは3割未満と他の国籍・地域に比べ低い。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」（39.0%）に次いで「1年以内」が37.1%と多い（図表1-6）。
- 国籍・地域別では、韓国や香港、シンガポールの「1年以内」の割合が5割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-5 来訪回数（国籍・地域別、全目的）

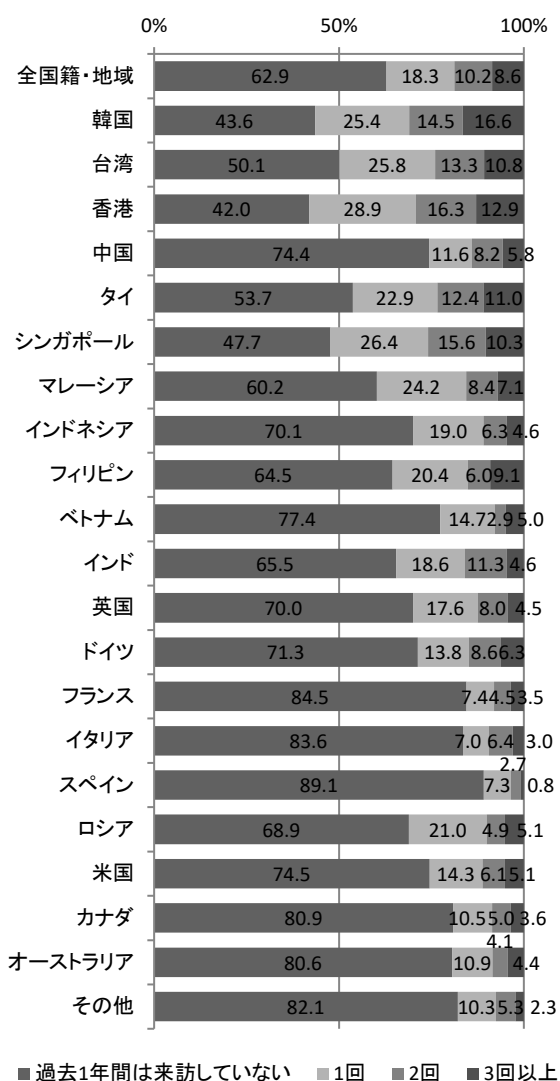


図表 1-6 前回の日本への来訪時期（国籍・地域別、全目的）

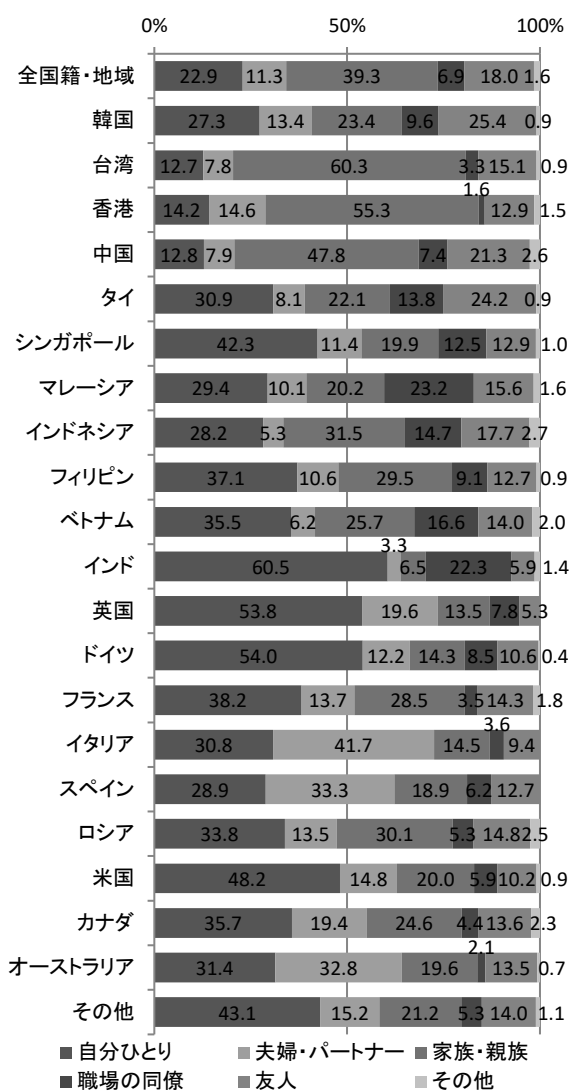


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「1回」が18.3%、「2回」が10.2%、「3回以上」が8.6%を占める（図表1-7）。
- 国籍・地域別にみると、韓国や台湾、香港、タイ、シンガポールでは「3回以上」の割合が1割以上と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「家族・親族」が39.3%と最も多い。次いで「自分ひとり」（22.9%）、「友人」（18.0%）、「夫婦・パートナー」（11.3%）、「職場の同僚」（6.9%）の順となっている（図表1-8）。
- 国籍・地域別にみると、インドや英国、ドイツで「自分ひとり」の割合が5割超と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-7 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、全目的）

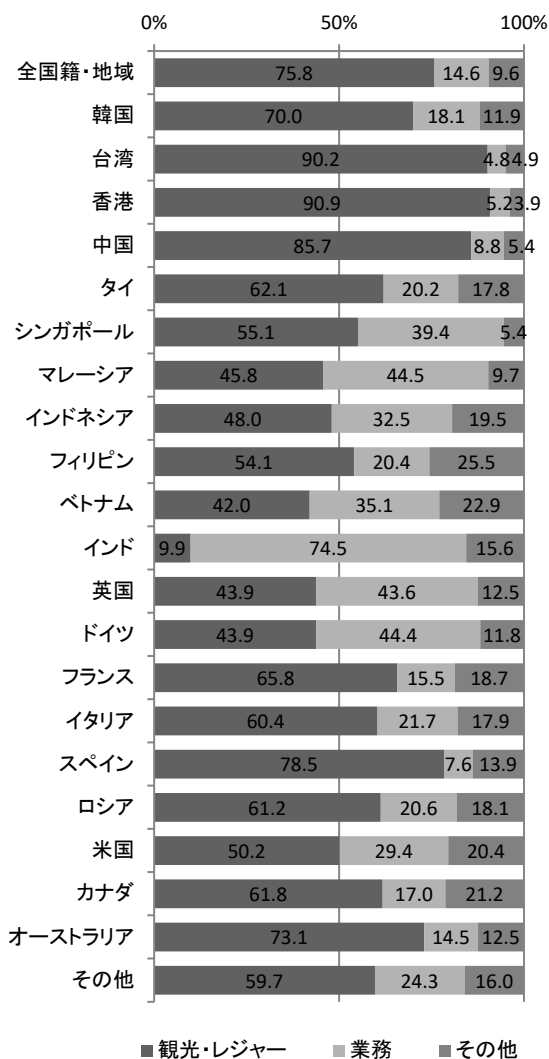


図表 1-8 同行者（国籍・地域別、全目的）

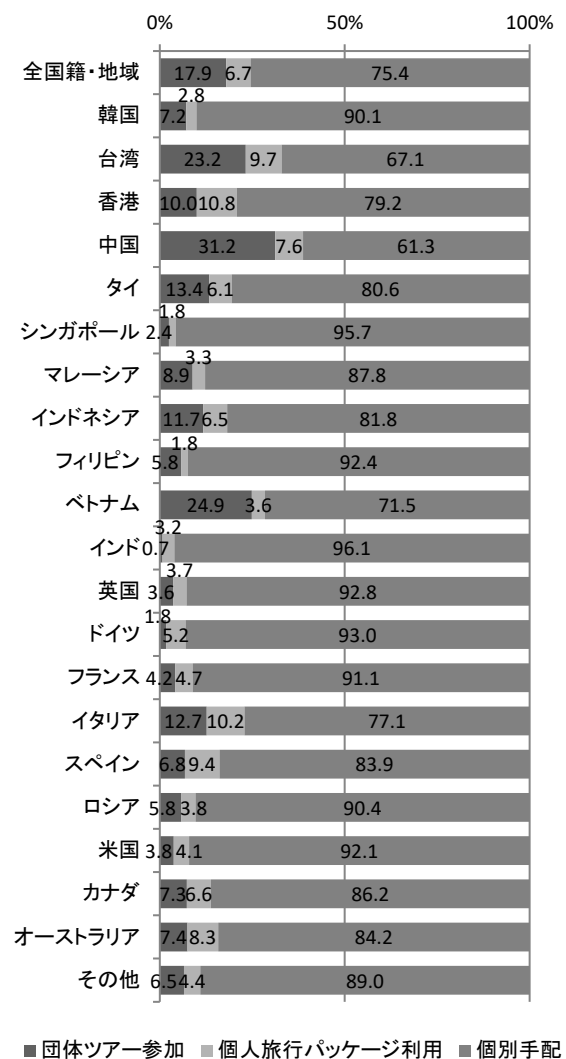


- 日本への主な来訪目的では「観光・レジャー」が全体の75.8%を占める。一方、「業務(展示会・見本市/国際会議/企業ミーティング/研修/その他ビジネス)」は全体の14.6%を占める(図表1-9)。
- 国籍・地域別では、「観光・レジャー」の割合が台湾や香港で9割超、中国で8割超と高い。「業務」はインドで7割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- 旅行手配方法では「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した(以下、**団体ツアー参加**)」が17.9%、「往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した(以下、**個人旅行パッケージ利用**)」が6.7%、「往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配した(以下、**個別手配**)」が75.4%を占める(図表1-10)。

図表 1-9 主な来訪目的(国籍・地域別、全目的)

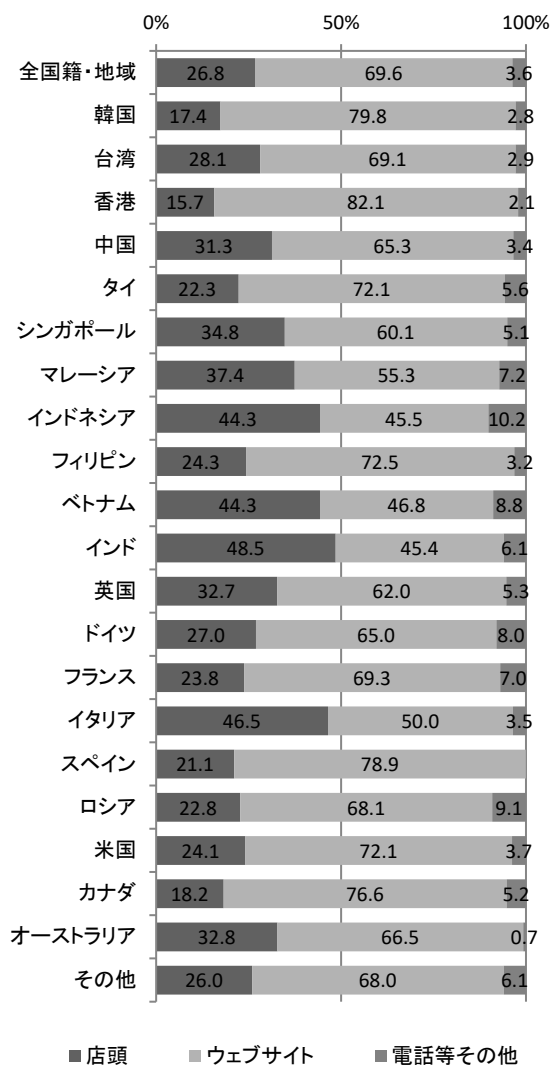


図表 1-10 旅行手配方法(国籍・地域別、全目的)



- ツアー商品や往復航空（船舶）券の**申込方法**では、「店頭（旅行会社や航空会社等）で申し込んだ（以下、**店頭**）」人の割合が全体の26.8%、「ウェブサイトから申し込んだ（以下、**ウェブサイト**）」人の割合が同69.6%を占める（図表1-11）。
- 国籍・地域別では、「店頭」の割合がインドネシアやベトナム、インド、イタリアで4割超と高い。

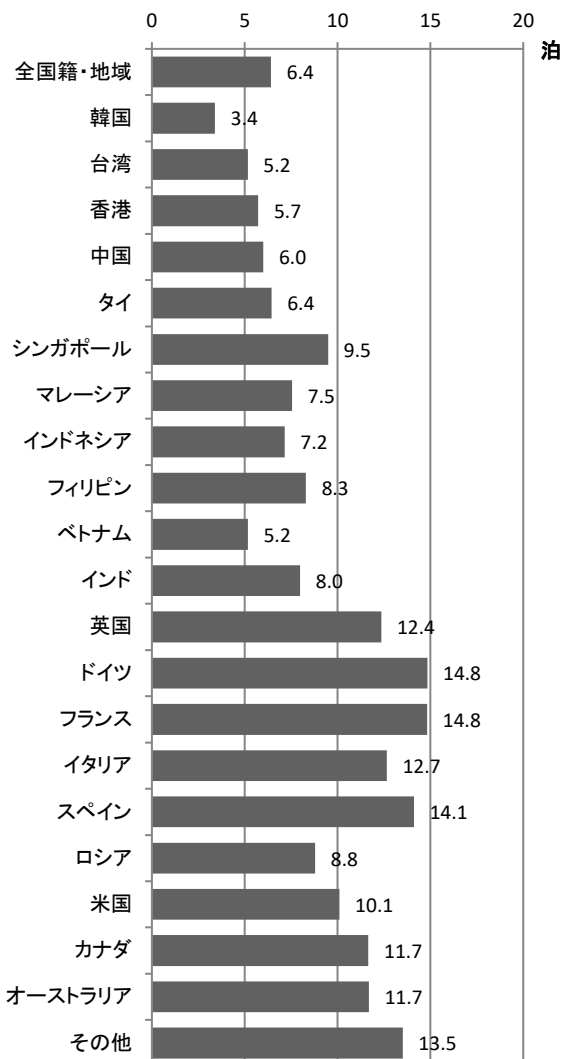
図表 1-11 申込方法（国籍・地域別、全目的）



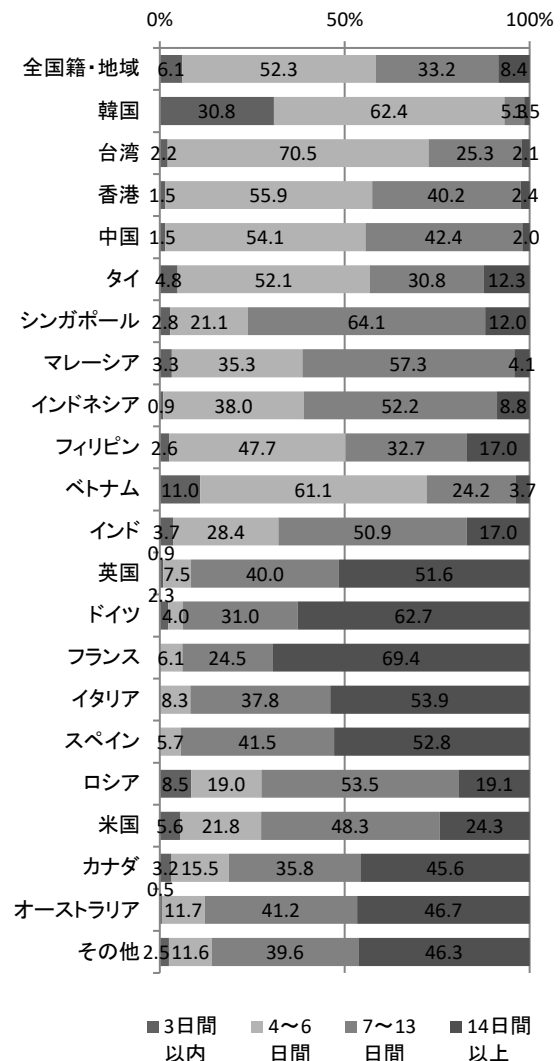
(2) 観光・レジャー目的

- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の平均泊数は6.4泊である(図表1-12)。
- 国籍・地域別にみると、英国やドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、カナダ、オーストラリアで平均泊数が長く、10泊を超えている。
- 滞在日数では、6日間以内が58.4%を占める(図表1-13)。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」が30.8%と他の国籍・地域に比べて多い。「14日間以上」の割合はドイツやフランスで6割超と他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-12 平均泊数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

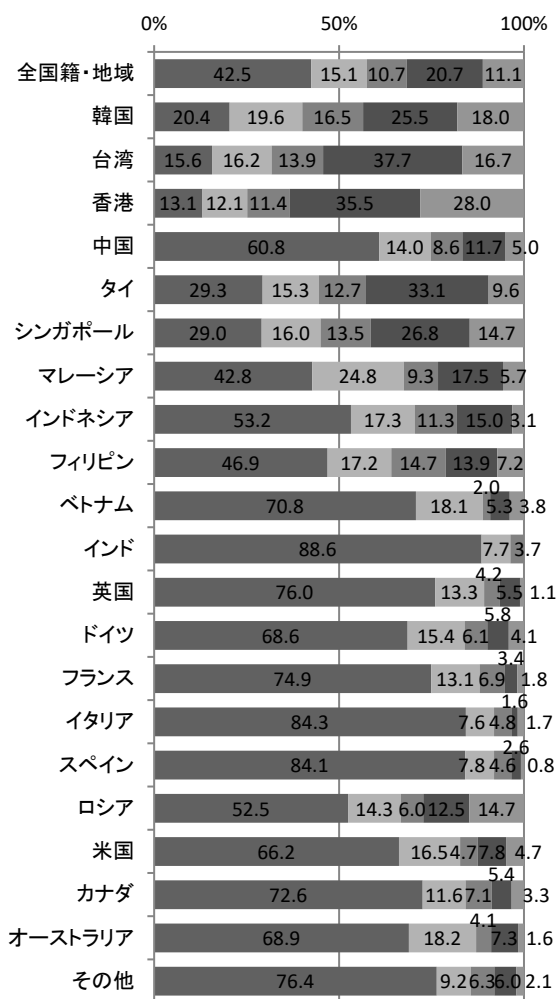


図表 1-13 滞在日数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)



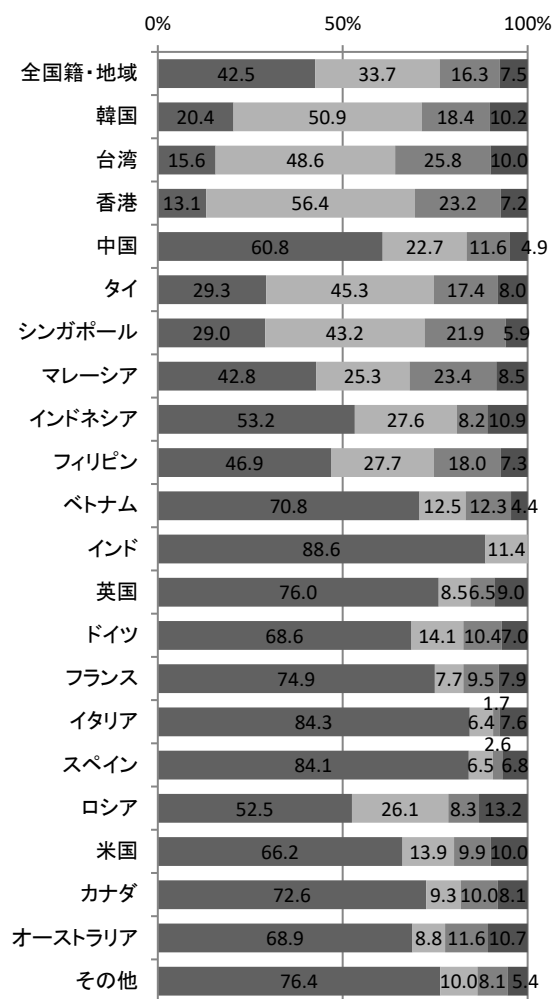
- 日本への来訪回数では、「1回目」が42.5%と最も多い。一方で「10回目以上」も11.1%と少なくない（図表1-14）。
- 国籍・地域別では、「1回目」の割合がインドやイタリア、スペインで8割超と他の国籍・地域に比べ高い。一方、香港では「10回目以上」の割合が28.0%と他の国籍・地域に比べ高い。
- 前回の日本への来訪時期では、「1年以内」が「今回が初めて」に次いで33.7%と多い（図表1-15）。
- 国籍・地域別では、韓国や香港の「1年以内」の割合が5割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-14 来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)



■ 1回目 ■ 2回目 ■ 3回目 ■ 4-9回目 ■ 10回目以上

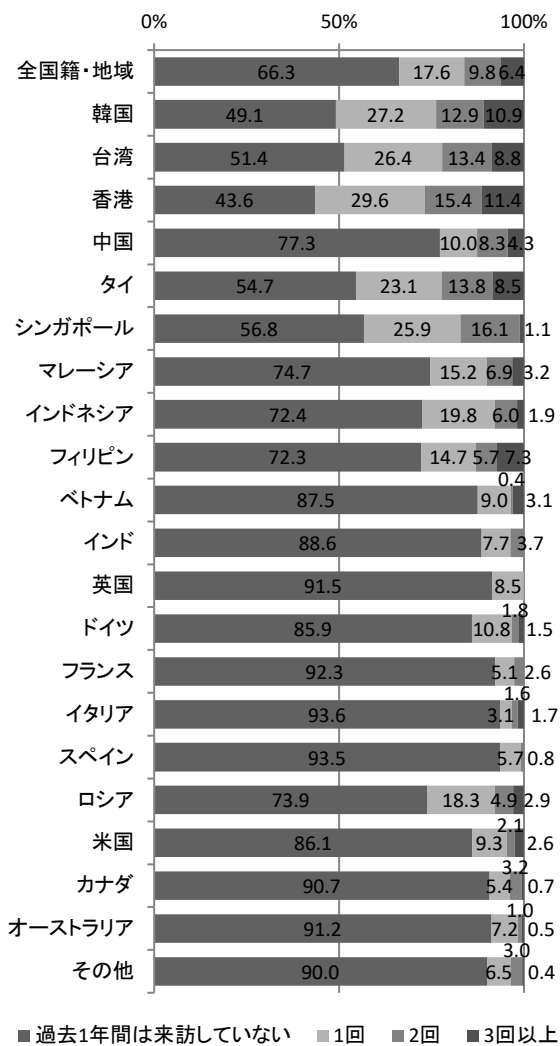
図表 1-15 前回の日本への来訪時期
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)



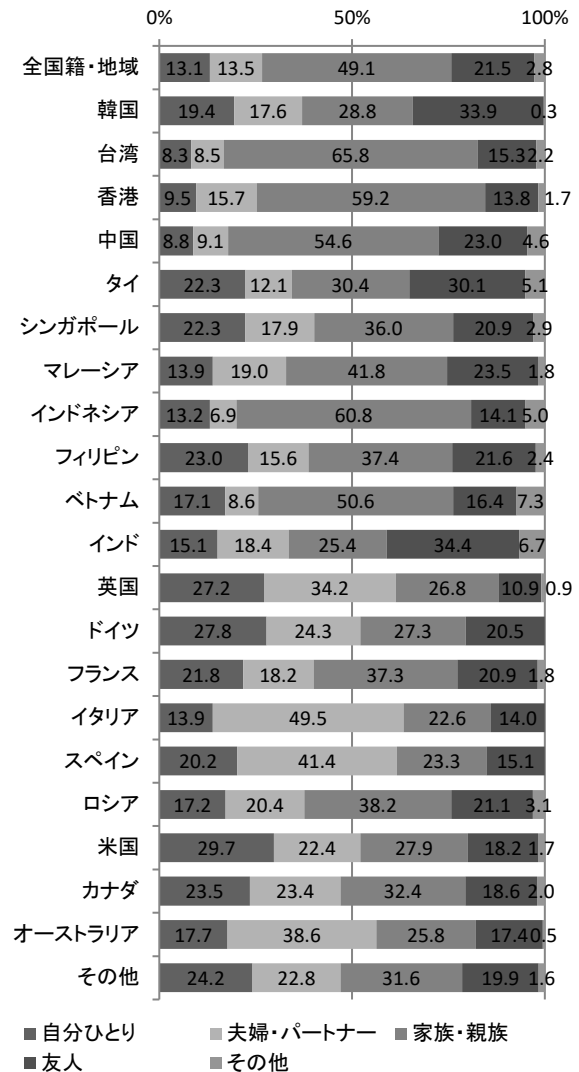
■ 今回が初めて ■ 1年以内 ■ 3年以内 ■ 3年よりも前

- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「1回」が17.6%、「2回」が9.8%、「3回以上」が6.4%を占める（図表1-16）。
- 国籍・地域別にみると、韓国や香港では「3回以上」の割合が1割超と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「家族・親族」（49.1%）、「友人」（21.5%）、「夫婦・パートナー」（13.5%）、「自分ひとり」（13.1%）の順となっている（図表1-17）。
- 国籍・地域別では、イタリアやスペインで「夫婦・パートナー」の割合が4割超、台湾やインドネシアで「家族・親族」の割合が6割超と他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-16 過去1年間の日本への来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

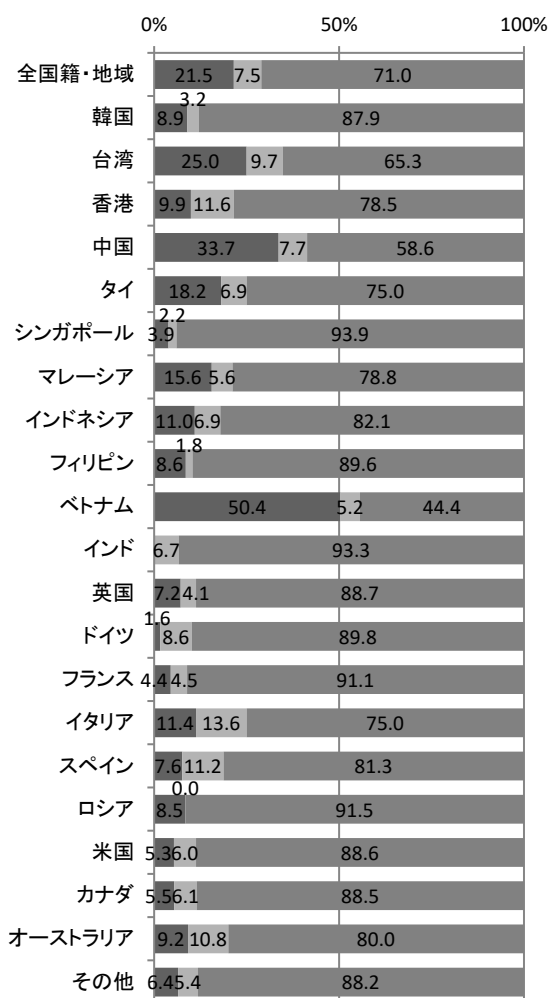


図表 1-17 同行者
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

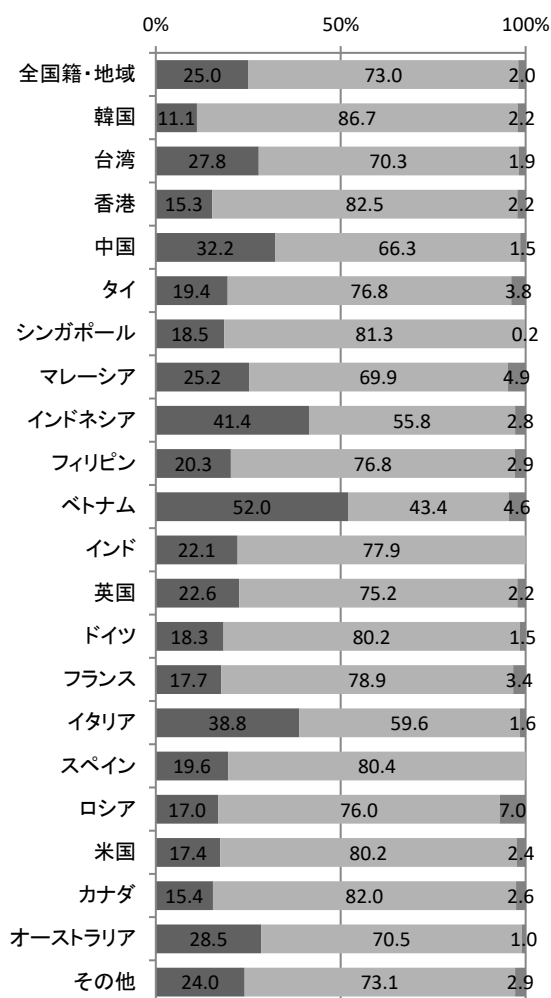


- 旅行手配方法では「団体ツアー参加」が21.5%、「個人旅行パッケージ利用」が7.5%、「個別手配」が71.0%を占める（図表 1-18）。
- 国籍・地域別では、「団体ツアー参加」の割合がベトナムで5割超と他の国籍・地域に比べ高い。一方、シンガポールやインド、フランス、ロシアで「個別手配」の割合が9割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の申込方法では、「店頭」の割合が25.0%、「ウェブサイト」の割合が73.0%を占める（図表 1-19）。
- 国籍・地域別では、ベトナムで「店頭」の割合が5割超と高い。「ウェブサイト」は韓国や香港、シンガポール、ドイツ、スペイン、米国、カナダで8割超を占める。

図表 1-18 旅行手配方法
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)



図表 1-19 申込方法
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)



■ 団体ツアー参加 ■ 個人旅行パッケージ利用 ■ 個別手配

■ 店頭 ■ ウェブサイト ■ 電話等その他

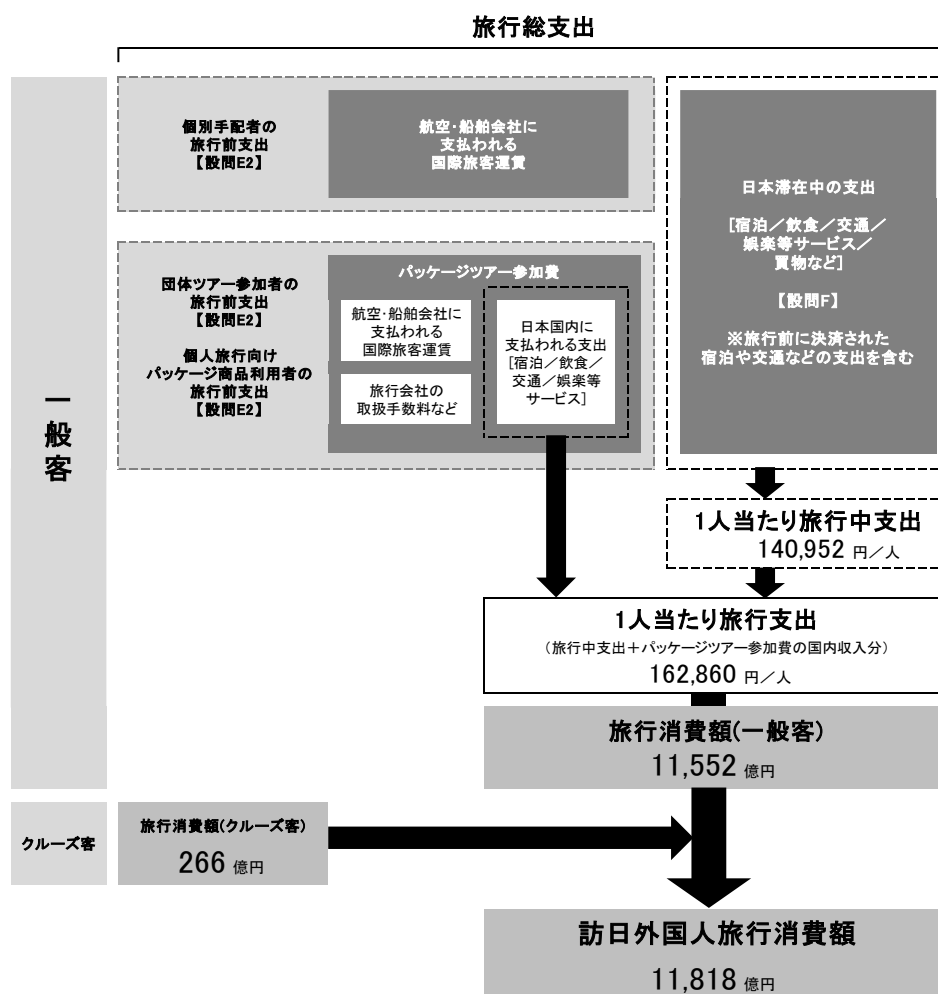
2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造

- 本調査では、船舶観光上陸許可を得た訪日外国人をクルーズ客、これ以外の訪日外国人を一般客とする（図表 2-1）。
- 旅行前支出は旅行手配方法別に捉え方が異なる。団体ツアー参加者^{注1}及び個人旅行パッケージ利用者^{注2}についてはパッケージツアー参加費を旅行前支出として尋ねている。一方、個別手配者^{注3}については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃を旅行前支出として尋ねている。
- 旅行中支出とは、日本滞在中の支出であり、宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代など日本滞在中に支払ったすべての支出金額を尋ねている。

注1) 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した人
 注2) 往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した人
 注3) 往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した人

図表 2-1 訪日外国人消費動向調査における旅行支出の構造 概念図



- **パッケージツアー参加費**には、日本国内に支払われる支出（宿泊／飲食／交通／娯楽等サービス）や航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃などが含まれる。本調査では、このうち日本国内に支払われる支出（以下、国内収入分）を旅行中支出に加算することにより、一般客の旅行消費額（総額）を推計する。ただし、クルーズ客ではパッケージツアー参加費の国内収入分の加算は行わない。

(2) 旅行前支出

- 一般客における**団体ツアー**の購入者単価は1人当たり平均140,431円、**個人旅行パッケージ**の購入者単価は1人当たり平均144,215円であった（図表2-2）。

- **個別手配者**の国際旅客運賃（出発国から日本までの往復運賃）の購入者単価は一般客1人当たり平均70,149円であった。

(3) 旅行中支出

- 一般客が日本滞在中に支出した**旅行中支出**は1人当たり平均140,952円であった。旅行手配方法別では、**団体ツアー参加者**では1人当たり平均78,492円、**個人旅行パッケージ利用者**では1人当たり平均93,684円、**個別手配者**では1人当たり平均159,967円であった（図表2-3）。
- 旅行前支出と旅行中支出を合算した**旅行総支出**は、一般客1人当たり平均228,628円であった（図表2-4）。

図表 2-2 一般客1人当たり旅行前支出（旅行手配方法別）

【団体ツアー参加者】			【個人旅行パッケージ利用者】			【個別手配者】		
国籍・地域	(%)	(円/人)	国籍・地域	(%)	(円/人)	国籍・地域	(%)	(円/人)
国籍・地域	団体ツアー参加率	団体ツアー購入者単価	国籍・地域	個人旅行パッケージ利用率	個人旅行パッケージ購入者単価	国籍・地域	個別手配比率	国際旅客運賃購入者単価
全国籍・地域	17.9%	140,431	全国籍・地域	6.7%	144,215	全国籍・地域	75.4%	70,149
韓国	7.2%	89,256	韓国	2.8%	67,495	韓国	90.1%	24,244
台湾	23.2%	117,711	台湾	9.7%	83,811	台湾	67.1%	43,004
香港	10.0%	127,194	香港	10.8%	104,863	香港	79.2%	54,365
中国	31.2%	132,863	中国	7.6%	136,133	中国	61.3%	64,457
タイ	13.4%	99,960	タイ	6.1%	101,503	タイ	80.6%	57,542
シンガポール	2.4%	224,383	シンガポール	1.8%	198,075	シンガポール	95.7%	79,924
マレーシア	8.9%	171,929	マレーシア	3.3%	88,386	マレーシア	87.8%	68,567
インドネシア	11.7%	134,034	インドネシア	6.5%	158,024	インドネシア	81.8%	71,489
フィリピン	5.8%	169,612	フィリピン	1.8%	101,561	フィリピン	92.4%	52,899
ベトナム	24.9%	133,825	ベトナム	3.6%	142,998	ベトナム	71.5%	66,711
インド	0.7%	115,711	インド	3.2%	108,049	インド	96.1%	98,450
英国	3.6%	399,840	英国	3.7%	378,935	英国	92.8%	166,594
ドイツ	1.8%	318,107	ドイツ	5.2%	331,324	ドイツ	93.0%	161,967
フランス	4.2%	427,548	フランス	4.7%	350,059	フランス	91.1%	137,556
イタリア	12.7%	366,887	イタリア	10.2%	444,589	イタリア	77.1%	115,158
スペイン	6.8%	304,011	スペイン	9.4%	337,894	スペイン	83.9%	135,044
ロシア	5.8%	258,650	ロシア	3.8%	74,225	ロシア	90.4%	78,572
米国	3.8%	439,286	米国	4.1%	289,672	米国	92.1%	163,710
カナダ	7.3%	267,904	カナダ	6.6%	281,801	カナダ	86.2%	124,118
オーストラリア	7.4%	373,287	オーストラリア	8.3%	420,447	オーストラリア	84.2%	90,771
その他	6.5%	359,224	その他	4.4%	324,251	その他	89.0%	125,147

図表 2-3 一般客1人当たり旅行中支出(国籍・地域別)

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行中支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	b.平均泊数	c.1泊当たり旅行中支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	140,952	78,492	93,684	159,967	10.4	13,618	14,198	12,061	13,644
韓国	81,078	24,613	31,317	87,107	7.6	10,644	7,843	11,464	10,721
台湾	91,322	46,369	55,872	111,995	6.7	13,598	11,212	11,947	14,171
香港	137,902	61,490	92,866	153,693	6.7	20,629	14,376	17,528	21,412
中国	171,094	102,097	131,735	211,034	7.7	22,220	18,275	20,099	23,670
タイ	137,863	62,552	124,737	151,335	20.0	6,901	11,120	3,728	7,092
シンガポール	147,131	93,129	41,571	150,502	9.1	16,255	12,649	3,884	16,606
マレーシア	121,969	42,589	60,577	132,332	16.8	7,260	8,294	12,264	7,180
インドネシア	120,220	31,982	59,554	137,702	19.7	6,098	2,112	8,131	6,448
フィリピン	88,079	44,010	115,801	90,274	25.6	3,440	3,337	1,605	3,546
ベトナム	159,488	44,197	57,954	204,698	36.3	4,392	10,040	11,060	4,180
インド	145,874	102,928	64,643	148,909	21.7	6,724	10,176	3,896	6,784
英国	160,804	98,138	52,787	167,466	12.7	12,659	11,720	6,285	12,844
ドイツ	176,039	20,934	102,084	183,099	12.4	14,146	2,045	9,363	14,564
フランス	234,718	47,951	99,256	250,266	24.5	9,582	4,351	9,809	9,680
イタリア	153,431	49,363	70,769	181,478	12.7	12,069	4,447	5,818	13,905
スペイン	190,842	58,064	81,920	213,738	16.1	11,890	5,139	7,566	12,560
ロシア	176,850	52,867	109,200	187,691	24.6	7,183	6,521	1,328	8,076
米国	182,761	83,956	94,150	190,795	14.1	12,975	5,129	6,799	13,626
カナダ	149,728	63,083	127,744	158,714	12.1	12,353	5,348	8,511	13,306
オーストラリア	174,348	39,444	52,437	198,301	11.9	14,703	3,216	4,172	16,874
その他	201,409	68,130	101,194	216,203	18.5	10,877	5,985	6,546	11,264

図表 2-4 一般客1人当たり旅行総支出(国籍・地域別)

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行総支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	b.平均泊数	c.1泊当たり旅行総支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	228,628	218,923	237,899	230,115	10.4	22,089	39,600	30,627	19,627
韓国	111,181	113,869	98,812	111,350	7.6	14,596	36,287	36,170	13,705
台湾	155,623	164,080	139,682	154,999	6.7	23,172	39,675	29,867	19,612
香港	205,005	188,684	197,729	208,058	6.7	30,667	44,113	37,321	28,986
中国	262,284	234,959	267,868	275,491	7.7	34,064	42,058	40,869	30,899
タイ	203,741	162,511	226,240	208,876	20.0	10,198	28,889	6,762	9,788
シンガポール	232,719	317,512	239,646	230,426	9.1	25,711	43,125	22,392	25,424
マレーシア	200,392	214,519	148,963	200,899	16.8	11,928	41,775	30,158	10,901
インドネシア	204,669	166,016	217,578	209,190	19.7	10,381	10,961	29,706	9,796
フィリピン	148,582	213,621	217,362	143,173	25.6	5,802	16,199	3,014	5,623
ベトナム	245,638	178,022	200,952	271,409	36.3	6,764	40,440	38,351	5,542
インド	244,753	218,640	172,692	247,359	21.7	11,281	21,616	10,408	11,269
英国	343,465	497,978	431,721	334,059	12.7	27,039	59,472	51,399	25,622
ドイツ	349,544	339,041	433,407	345,066	12.4	28,089	33,114	39,752	27,448
フランス	394,374	475,499	449,316	387,822	24.5	16,100	43,148	44,402	15,001
イタリア	334,137	416,250	515,358	296,636	12.7	26,283	37,499	42,369	22,729
スペイン	356,340	362,075	419,815	348,782	16.1	22,202	32,045	38,772	20,495
ロシア	265,718	311,517	183,425	266,262	24.6	10,792	38,424	2,230	11,457
米国	362,109	523,242	383,822	354,505	14.1	25,707	31,968	27,716	25,317
カナダ	294,649	330,987	409,545	282,832	12.1	24,310	28,060	27,285	23,712
オーストラリア	313,557	412,731	472,884	289,072	11.9	26,443	33,654	37,622	24,599
その他	350,710	427,354	425,446	341,350	18.5	18,939	37,545	27,520	17,784

(4) 旅行支出の推計

- 一般客の旅行支出及び旅行消費額は、訪日外国人が日本国内で支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費などの国内収入分（以下、パッケージ内訳）を加算することにより推計する。
- 今期のパッケージ内訳は1人当たり平均21,907円と推計される（図表2-5）。
- 旅行中支出にパッケージ内訳を加えた今期の旅行支出は1人当たり平均162,860円と推計され、今期の一般客の旅行消費額は1兆1,552億円と推計される。
- これにクルーズ客の旅行消費額266億円を加算し、2019年7-9月期の訪日外国人旅行消費額は1兆1,818億円と推計される。

図表2-5 訪日外国人1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行消費額の推移

暦年		一般客								クルーズ客			訪日外国人旅行消費額	
		(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)	(億円)	(円/人)	(人)	(億円)	(億円)	
		a.	b.	c.		d.	e.	f.	g.	h.	k.			
		日本国内での旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)	パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分 (パッケージ内訳)	旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		一般客数	旅行消費額 (=c×d)	旅行中支出	クルーズ客数	旅行消費額 (=f×g)	訪日外国人旅行消費額 (=e+h)			
		注1	注1・注2	注1		注1・注3	注1		注4		注1			
		注5	前年比	注5	前年比	注5	前年比				注1		前年比	
2018年		131,241	0.5%	21,788	-6.4%	153,029	-0.6%	28,854,053	44,155	44,227.33	2,337,803	1034	45,189	-
2019年														
四半期	2018年1-3月期	132,382	4.3%	19,876	-6.2%	152,258	2.8%	7,147,019	10,882	50,662	471,643	239	11,121	-
	2018年4-6月期	121,984	-3.5%	23,414	2.4%	145,397	-2.6%	7,607,261	11,061	40,501	673,140	273	11,333	-
	2018年7-9月期	135,808	-3.2%	21,481	-14.3%	157,289	-4.9%	6,827,514	10,739	35,788	742,142	266	11,004	-
	2018年10-12月期	135,515	5.5%	22,255	-6.0%	157,770	3.7%	7,272,259	11,473	56,951	450,878	257	11,730	-
	2019年1-3月期	130,034	-1.8%	17,379	-12.6%	147,413	-3.2%	7,693,723	11,342	48,631	360,074	175	11,517	3.6%
	2019年4-6月期	134,203	10.0%	20,764	-11.3%	154,967	6.6%	8,050,409	12,475	37,244	529,408	197	12,673	11.8%
	2019年7-9月期	140,952	3.8%	21,907	2.0%	162,860	3.5%	7,093,271	11,552	38,473	690,935	266	11,818	7.4%
	2019年10-12月期													

注1) 訪日外客数(日本政府観光局)の更新等に伴い、前期公表値から一部数値を改訂している。
 注2) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。
 注3) 訪日外客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。
 注4) 船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
 注5) 2018年より調査方法を変更したため2018年の「前年比」は参考値。

【一般客の旅行消費額の推計方法（パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分の加算）】

一般客のパッケージツアー参加費には、「出発国から日本までの往復運賃」に加え、日本に支払われる「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」が含まれているものと仮定する。これらの費目のうち、「出発国から日本までの往復運賃」を除く費目の支出を、日本国内に支払われる支出（国内収入分）とみなす。

一般客の旅行消費額は、「旅行中支出」に「パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分」の金額を加算することにより推計する。パッケージツアー参加費の内訳は、観光・レジャー目的の個人手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて配分した。なお、この配分は国籍・地域毎（20市場と「その他の国籍・地域」の21区分）に行っている。

なお、本報告書で推計している訪日外国人旅行消費額には、日本の航空会社及び船舶会社に支払われる国際旅客運賃（往復運賃）が含まれない点に留意されたい。

- 一般客の旅行支出を国籍・地域別にみると、フランス(25.5万円)、スペイン(22.2万円)、オーストラリア(21.8万円)の順で高い。また、韓国(8.7万円)やフィリピン(9.6万円)は他の国籍・地域に比べて旅行支出が低い(図表2-6)。
- 一般客の旅行消費額を国籍・地域別にみると、①中国4,692億円(構成比40.6%)、②台湾1,333億円(同11.5%)、③韓国932億円(同8.1%)、④香港838億円(同7.3%)、⑤米国790億円(同6.8%)の順となっている。
- 前述の上位5ヶ国・地域合計で8,585億円(構成比74.3%)を占める。エリア別では、東アジア4ヶ国・地域合計で7,796億円(同67.5%)、東南アジア6ヶ国(タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム)合計で890億円(同7.7%)、欧州5ヶ国(英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン)合計で736億円(同6.4%)となっている。

図表2-6 一般客1人当たり旅行支出と旅行消費額(国籍・地域別)

2019年7-9月期	a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		d. 一般客数 (クルーズ客を除く)		e. 旅行消費額 (クルーズ客を除く) (=c×d)		
	(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)		(億円)		
		前年比				前年比		前年比		構成比	前年比
全国籍・地域	140,952	3.8%	21,907	162,860	3.5%	7,093,271	3.9%	11,552	100.0%	7.6%	
韓国	81,078	12.9%	5,955	87,032	8.1%	1,071,063	-36.2%	932	8.1%	-31.0%	
台湾	91,322	-3.8%	23,038	114,360	-7.7%	1,165,800	6.7%	1,333	11.5%	-1.5%	
香港	137,902	-1.2%	15,641	153,544	-2.5%	545,747	2.3%	838	7.3%	-0.3%	
中国	171,094	-8.4%	32,482	203,576	-7.5%	2,304,958	29.6%	4,692	40.6%	20.0%	
タイ	137,863	40.4%	11,987	149,850	30.9%	184,208	4.8%	276	2.4%	37.3%	
シンガポール	147,131	-26.3%	6,106	153,238	-25.6%	70,066	15.6%	107	0.9%	-14.0%	
マレーシア	121,969	-4.0%	11,072	133,041	-10.6%	70,879	3.4%	94	0.8%	-7.5%	
インドネシア	120,220	10.8%	15,462	135,682	7.9%	65,732	-3.2%	89	0.8%	4.5%	
フィリピン	88,079	-21.6%	7,732	95,811	-18.7%	106,007	36.2%	102	0.9%	10.8%	
ベトナム	159,488	9.8%	21,530	181,017	0.4%	122,606	27.2%	222	1.9%	27.6%	
インド	145,874	-6.9%	2,454	148,328	-10.3%	41,775	15.9%	62	0.5%	3.9%	
英国	160,804	-17.6%	16,804	177,608	-18.1%	102,832	35.7%	183	1.6%	11.1%	
ドイツ	176,039	-14.0%	13,828	189,867	-11.7%	58,337	9.7%	111	1.0%	-3.2%	
フランス	234,718	5.8%	20,548	255,267	4.1%	91,866	12.8%	235	2.0%	17.5%	
イタリア	153,431	-25.0%	55,512	208,944	-14.2%	49,561	3.9%	104	0.9%	-10.8%	
スペイン	190,842	-6.3%	30,726	221,568	-6.8%	47,159	9.3%	104	0.9%	1.9%	
ロシア	176,850	24.3%	11,322	188,173	20.7%	27,384	25.0%	52	0.4%	50.8%	
米国	182,761	0.9%	15,976	198,736	-1.0%	397,304	13.0%	790	6.8%	11.9%	
カナダ	149,728	-14.4%	21,264	170,991	-8.8%	83,813	13.4%	143	1.2%	3.5%	
オーストラリア	174,348	-15.1%	44,126	218,474	-0.8%	119,908	15.4%	262	2.3%	14.5%	
その他	201,409	5.4%	22,936	224,345	8.6%	366,266	18.2%	822	7.1%	28.4%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。

注2) 訪日外客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。

(5) 費目別にみる旅行支出

- 一般客の費目別旅行支出（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」はフランスで10.8万円、「買物代」は中国で9.3万円と高い（図表2-7）。

図表2-7 費目別にみる一般客1人当たり旅行支出（国籍・地域別）

(円/人)

国籍・地域	【費目別旅行支出】						
	旅行支出 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	162,860	49,789	36,554	17,982	6,744	51,757	33
韓国	87,032	32,194	25,311	9,391	3,700	16,433	4
台湾	114,360	32,171	28,098	14,024	5,154	34,808	105
香港	153,544	45,085	35,811	15,993	4,508	52,147	0
中国	203,576	46,484	38,033	17,225	8,325	93,475	35
タイ	149,850	45,820	34,237	17,137	5,478	47,178	0
シンガポール	153,238	61,774	37,781	19,572	2,390	31,672	49
マレーシア	133,041	44,955	35,719	17,577	3,807	30,982	0
インドネシア	135,682	47,111	34,416	17,134	4,686	32,262	73
フィリピン	95,811	28,547	25,468	10,533	4,260	26,982	20
ベトナム	181,017	54,976	45,648	18,664	7,668	54,047	14
インド	148,328	70,203	32,787	18,398	3,227	23,712	0
英国	177,608	79,496	48,582	26,160	6,601	16,764	4
ドイツ	189,867	81,531	48,018	34,186	6,453	19,672	6
フランス	255,267	108,139	58,460	40,867	11,388	36,413	0
イタリア	208,944	86,779	52,807	38,245	5,320	25,793	0
スペイン	221,568	90,230	57,567	37,689	14,192	21,891	0
ロシア	188,173	62,849	48,524	21,900	7,258	47,564	77
米国	198,736	89,604	49,698	26,360	9,861	23,203	11
カナダ	170,991	67,313	41,858	30,468	8,407	22,886	59
オーストラリア	218,474	90,598	53,807	34,341	10,671	29,058	0
その他	224,345	88,552	52,614	32,178	10,382	40,620	0

- 一般客の費目別旅行消費額（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」「買物代」で中国が最も高くなっている。特に「買物代」は2,155億円と他の国籍・地域に比べ突出して高い（図表2-8）。

- 旅行消費額の費目別構成比をみると、シンガポールやインド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、オーストラリアでは「宿泊費」の割合が4割超と高い傾向がみられる。中国では「買物代」が45.9%と高い割合を占める。

図表2-8 費目別にみる一般客の旅行消費額（国籍・地域別）

(億円) (％)

国籍・地域	【費目別旅行消費額】							【費目別旅行消費額 構成比】(ヨコ計100%)					
	消費額 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	11,552	3,532	2,593	1,276	478	3,671	2	30.6%	22.4%	11.0%	4.1%	31.8%	0.0%
韓国	932	345	271	101	40	176	0	37.0%	29.1%	10.8%	4.3%	18.9%	0.0%
台湾	1,333	375	328	163	60	406	1	28.1%	24.6%	12.3%	4.5%	30.4%	0.1%
香港	838	246	195	87	25	285	0	29.4%	23.3%	10.4%	2.9%	34.0%	0.0%
中国	4,692	1,071	877	397	192	2,155	1	22.8%	18.7%	8.5%	4.1%	45.9%	0.0%
タイ	276	84	63	32	10	87	0	30.6%	22.8%	11.4%	3.7%	31.5%	0.0%
シンガポール	107	43	26	14	2	22	0	40.3%	24.7%	12.8%	1.6%	20.7%	0.0%
マレーシア	94	32	25	12	3	22	0	33.8%	26.8%	13.2%	2.9%	23.3%	0.0%
インドネシア	89	31	23	11	3	21	0	34.7%	25.4%	12.6%	3.5%	23.8%	0.1%
フィリピン	102	30	27	11	5	29	0	29.8%	26.6%	11.0%	4.4%	28.2%	0.0%
ベトナム	222	67	56	23	9	66	0	30.4%	25.2%	10.3%	4.2%	29.9%	0.0%
インド	62	29	14	8	1	10	0	47.3%	22.1%	12.4%	2.2%	16.0%	0.0%
英国	183	82	50	27	7	17	0	44.8%	27.4%	14.7%	3.7%	9.4%	0.0%
ドイツ	111	48	28	20	4	11	0	42.9%	25.3%	18.0%	3.4%	10.4%	0.0%
フランス	235	99	54	38	10	33	0	42.4%	22.9%	16.0%	4.5%	14.3%	0.0%
イタリア	104	43	26	19	3	13	0	41.5%	25.3%	18.3%	2.5%	12.3%	0.0%
スペイン	104	43	27	18	7	10	0	40.7%	26.0%	17.0%	6.4%	9.9%	0.0%
ロシア	52	17	13	6	2	13	0	33.4%	25.8%	11.6%	3.9%	25.3%	0.0%
米国	790	356	197	105	39	92	0	45.1%	25.0%	13.3%	5.0%	11.7%	0.0%
カナダ	143	56	35	26	7	19	0	39.4%	24.5%	17.8%	4.9%	13.4%	0.0%
オーストラリア	262	109	65	41	13	35	0	41.5%	24.6%	15.7%	4.9%	13.3%	0.0%
その他	822	324	193	118	38	149	0	39.5%	23.5%	14.3%	4.6%	18.1%	0.0%

(6) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別に一般客の旅行支出（パッケージ内訳を含む）をみると、「観光・レジャー」は1人当たり平均157,134円、「業務」は同178,548円、「その他」は同184,191円となっている（図表2-9）。

図表 2-9 来訪目的別にみる一般客1人当たり旅行支出（主要国籍・地域別）

主な来訪目的		観光・レジャー	業務 注1	その他 注2	MICE 関連 注3 (再掲)
旅行 支出 (円/人)	全国籍・地域	157,134	178,548	184,191	151,497
	韓国	67,507	133,660	130,988	72,952
	台湾	110,110	155,063	152,019	99,325
	香港	151,679	200,006	134,391	164,216
	中国	199,690	220,092	238,012	236,377
	米国	191,716	227,555	174,568	167,565

【参考】

一般客 目的別 構成比 (%) ヨコ計=100	全国籍・地域	75.8	14.6	9.6	8.9
	韓国	70.0	18.1	11.9	11.5
	台湾	90.2	4.8	4.9	2.7
	香港	90.9	5.2	3.9	3.0
	中国	85.7	8.8	5.4	5.1
	米国	50.2	29.4	20.4	14.7

回答数 注4	全国籍・地域	5,481	2,027	1,170	1,231
	韓国	615	157	109	97
	台湾	607	38	36	24
	香港	651	42	26	22
	中国	921	105	72	63
	米国	651	391	271	193

注1)「業務」は、主な来訪目的が「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」「その他ビジネス」の回答の集計結果である。
注2)「その他」は、主な来訪目的が「親族・知人訪問」「ハネムーン」「学校関連の旅行」「スポーツ・スポーツ観戦」「イベント」「留学」「治療・検診」「インセンティブツアー」「トランジット」「その他」の回答の集計結果である。
注3)「MICE関連」は、主な来訪目的が「イベント」「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」の回答の集計結果である。
注4) 回答数の少ない数値については取り扱いに留意されたい。

(7) クルーズ客の旅行中支出

- クルーズ客の旅行中支出は1人当たり平均38,473円であった（図表2-10）。
- 費目別にみると、「買物代」が1人当たり平均36,237円、「飲食費」が同1,564円などとなっている（図表2-11）。
- クルーズ客の旅行消費額は266億円と推計される。費目別では、「買物代」が250億円、「飲食費」が11億円などとなっている（図表2-12）。

図表 2-10 クルーズ客1人当たり旅行中支出と旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	a. 旅行中支出 (円/人)	b. クルーズ客数 (人)		c. 旅行消費額 (=a×b) (億円)
		注1	前年比	
全国籍・地域	38,473	690,935	-6.9%	266
台湾	26,221	89,881	-1.9%	24
中国	40,710	565,155	-8.0%	230
その他注2	33,929	35,899	-1.6%	12

注1) 船舶観光上陸許可を受けて日本に特例上陸した外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
注2) 国籍・地域毎で標本サイズが不十分な場合は「その他」国籍に統合している。

図表 2-11 クルーズ客1人当たり費目別旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行中支出】 (円/人)					
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代 その他
全国籍・地域	38,473	0	1,564	509	162	36,237
台湾	26,221	0	2,267	2,135	339	21,481
中国	40,710	0	1,435	220	127	38,928
その他	33,929	0	1,842	991	269	30,828

図表 2-12 クルーズ客費目別旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】 (億円)					
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代 その他
全国籍・地域	266	0	11	4	1	250
台湾	24	0	2	2	0	19
中国	230	0	8	1	1	220
その他	12	0	1	0	0	11

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「菓子類」（69.4%）、「化粧品・香水」（44.1%）、「その他食料品・飲料・たばこ」（41.8%）の順で高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別で最も購入率が高い費目は、韓国と台湾、香港、米国で「菓子類」（それぞれ 71.3%、76.8%、69.6%、44.1%）、中国で「化粧品・香水」（80.5%）となっている。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の 1 人当たり平均支出）は、「時計・フィルムカメラ」が 4.2 万円と最も高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別では、香港の「時計・フィルムカメラ」（15.9 万円）や台湾の「宝石・貴金属」（7.6 万円）が他の国籍・地域に比べ突出して高い。

図表 3-1 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、全目的）

費目	国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	69.4%	7,914	71.3%	5,047	76.8%	7,592	69.6%	7,823	78.3%	9,243	44.1%	6,016
酒類	18.5%	8,396	25.0%	4,703	19.5%	5,735	16.5%	8,503	11.8%	12,075	27.8%	11,789
生鮮農産物	8.4%	5,699	3.7%	6,279	17.2%	3,335	26.0%	3,890	4.1%	6,454	4.5%	5,402
その他食料品・飲料・たばこ	41.8%	8,281	41.0%	6,019	46.5%	6,167	47.0%	7,040	41.9%	9,278	35.9%	9,008
化粧品・香水	44.1%	33,099	22.9%	5,631	36.9%	10,602	44.5%	16,006	80.5%	46,946	7.2%	10,951
医薬品	34.5%	12,963	31.8%	5,890	56.1%	11,908	41.1%	8,732	47.8%	17,014	3.2%	3,758
健康グッズ・トイレットリー	14.8%	11,824	5.8%	9,352	24.5%	7,651	22.3%	8,634	19.8%	15,986	4.6%	6,502
衣類	39.0%	17,588	19.2%	11,735	44.4%	11,627	53.2%	25,128	40.0%	21,336	34.0%	16,256
靴・かばん・革製品	21.9%	25,002	9.4%	10,222	23.4%	13,737	32.4%	22,769	27.6%	38,097	10.0%	13,312
電気製品	9.5%	25,286	3.1%	19,625	13.4%	13,043	6.2%	15,991	14.6%	30,180	3.5%	11,491
時計・フィルムカメラ	4.4%	41,867	1.3%	15,488	1.3%	8,037	2.5%	159,204	8.4%	44,592	1.4%	30,590
宝石・貴金属	1.6%	37,173	0.8%	18,683	0.2%	76,412	0.6%	13,103	2.3%	63,983	3.9%	10,284
民芸品・伝統工芸品	10.8%	7,523	2.5%	5,029	8.7%	4,623	8.5%	5,237	10.1%	6,698	19.5%	10,472
本・雑誌・ガイドブックなど	5.7%	6,698	5.1%	6,637	3.9%	7,234	5.9%	5,176	4.9%	5,753	10.6%	7,763
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	4.0%	11,278	2.4%	8,016	3.8%	6,714	4.8%	14,230	5.4%	11,840	3.3%	11,543
その他買物代	7.7%	15,088	6.3%	6,619	7.5%	8,333	5.6%	18,979	7.1%	17,708	11.4%	11,114

図表 3-2 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、観光・レジャー目的）

費目	国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	73.4%	7,661	75.2%	4,382	78.8%	7,519	71.1%	7,700	79.3%	9,021	48.2%	6,024
酒類	18.6%	7,198	27.6%	3,539	20.1%	5,377	17.2%	8,265	11.5%	10,591	30.1%	9,079
生鮮農産物	9.6%	3,605	3.6%	3,392	17.9%	2,974	27.5%	3,900	4.6%	3,372	3.8%	2,662
その他食料品・飲料・たばこ	43.5%	7,100	44.2%	4,340	46.7%	5,906	48.5%	6,962	42.4%	8,580	37.3%	6,843
化粧品・香水	49.7%	33,084	27.4%	5,185	38.0%	10,233	46.1%	15,465	82.2%	47,193	8.5%	7,267
医薬品	40.6%	12,842	37.1%	5,070	58.4%	11,860	44.1%	8,723	50.4%	16,897	3.8%	4,904
健康グッズ・トイレットリー	17.7%	11,603	7.4%	9,399	25.7%	7,034	23.8%	8,370	21.8%	15,872	4.4%	5,357
衣類	42.1%	16,843	20.9%	8,981	44.8%	10,894	55.2%	22,394	42.8%	20,549	40.2%	16,702
靴・かばん・革製品	24.3%	24,472	10.4%	9,096	23.8%	12,490	33.8%	20,478	28.8%	36,402	13.0%	11,929
電気製品	10.6%	22,829	2.5%	9,932	13.8%	13,024	6.7%	15,419	15.5%	29,075	4.5%	10,231
時計・フィルムカメラ	4.5%	44,701	1.4%	16,203	1.5%	8,037	2.6%	170,558	8.6%	44,484	1.2%	29,393
宝石・貴金属	1.7%	42,862	0.6%	8,265	0.2%	76,412	0.6%	13,103	2.6%	66,111	2.8%	5,854
民芸品・伝統工芸品	11.2%	6,767	3.1%	5,076	8.6%	3,912	8.2%	3,542	10.5%	6,081	24.7%	9,524
本・雑誌・ガイドブックなど	5.1%	6,230	5.2%	3,803	3.4%	8,264	5.9%	4,787	4.2%	5,626	9.7%	7,348
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	4.6%	11,068	2.7%	6,388	3.7%	6,959	5.3%	14,230	5.7%	11,439	4.4%	10,124
その他買物代	8.0%	13,772	7.3%	5,124	7.7%	8,577	6.0%	17,375	7.4%	17,456	12.6%	11,073

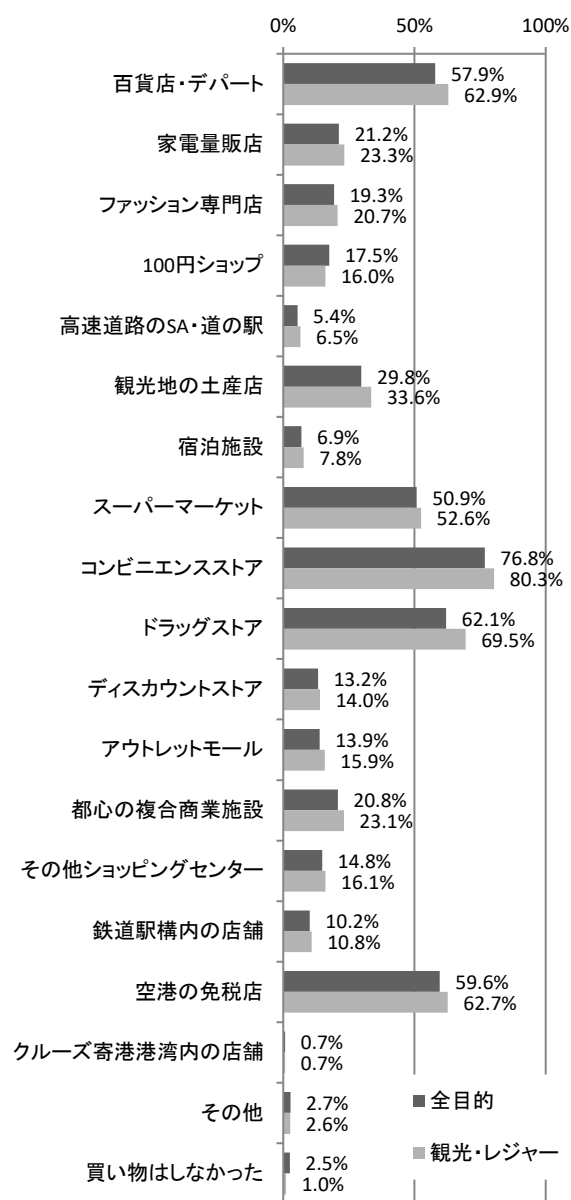
(3) 買物場所

- 買物場所は「コンビニエンスストア」(76.8%)、「ドラッグストア」(62.1%)、「空港の免税店」(59.6%)、「百貨店・デパート」(57.9%)、「スーパーマーケット」(50.9%)の順で高い(図表3-3)。

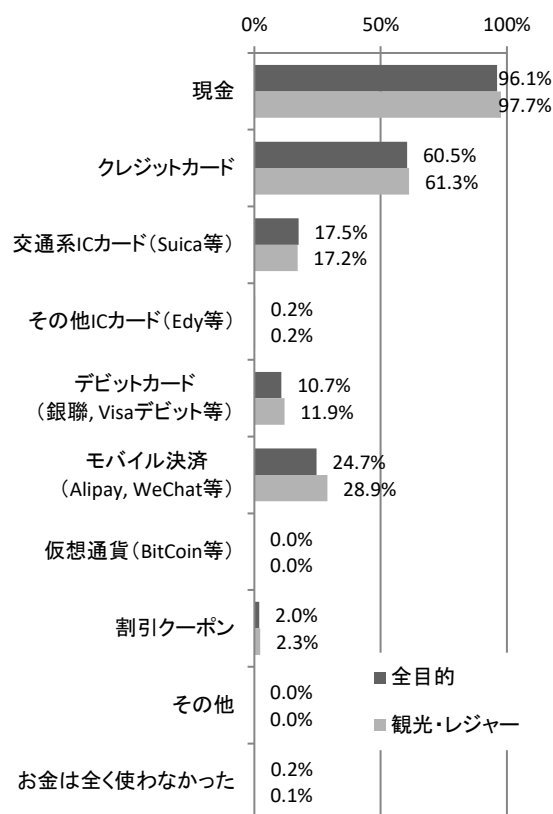
(4) 利用した決済方法

- 利用した決済方法は「現金」(96.1%)が最も高く、次いで「クレジットカード」(60.5%)、「モバイル決済」(24.7%)、「交通系ICカード」(17.5%)、「デビットカード」(10.7%)の順で高くなっている(図表3-4)。

図表 3-3 買物場所
(全国籍・地域、複数回答)



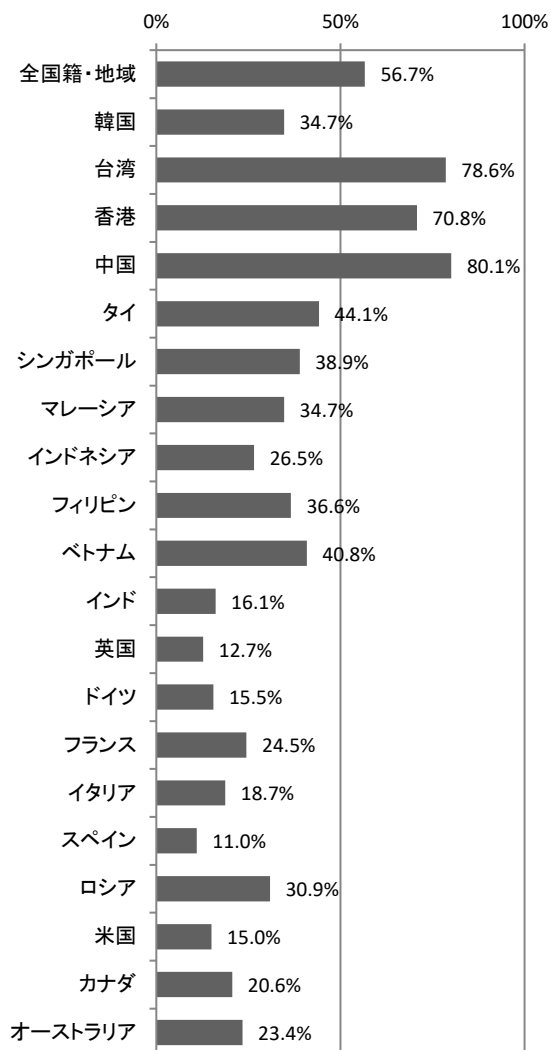
図表 3-4 利用した決済方法
(全国籍・地域、複数回答)



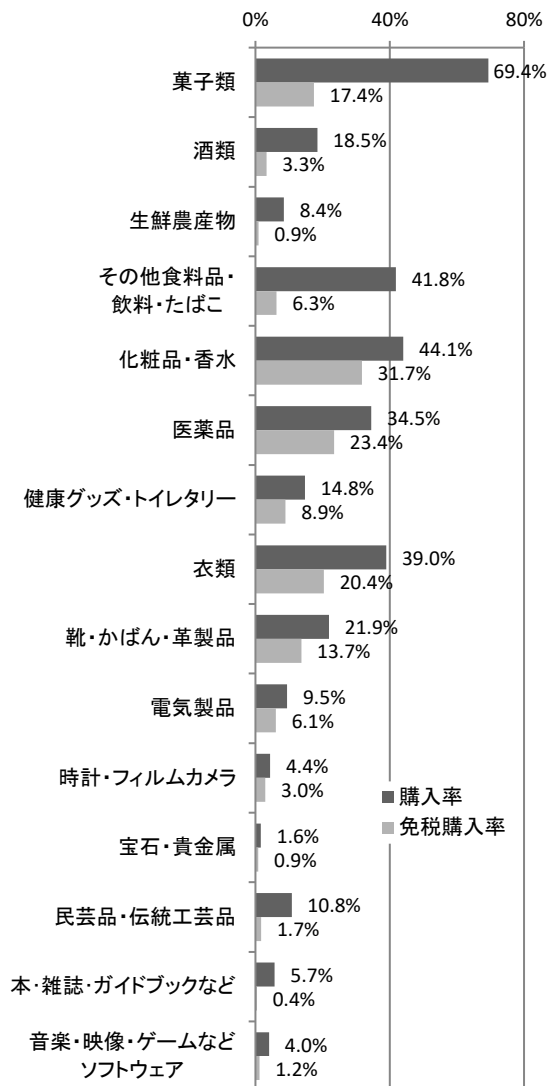
(5) 消費税免税手続きの実施状況

- 今回の日本滞在中に消費税免税手続きを実施した人の割合は全体の 56.7%である (図表 3-5)。
- 国籍・地域別にみると、台湾や香港、中国で 7 割超と高い。一方、インドや英国、ドイツ、イタリア、スペイン、米国では 2 割未満と他の国籍・地域に比べて低い。
- 買物代の費目別に、消費税免税手続きをして当該費目を購入した人の割合 (費目別の免税購入率、分母は一般客全体) をみると、「化粧品・香水」(31.7%) が最も高く、次いで「医薬品」(23.4%)、「衣類」(20.4%) の順で高くなっている (図表 3-6)。

図表 3-5 消費税免税手続きの実施率 (国籍・地域別)



図表 3-6 費目別購入率と費目別の免税購入率 (全国籍・地域、複数回答)



4. 満足度と再訪意向

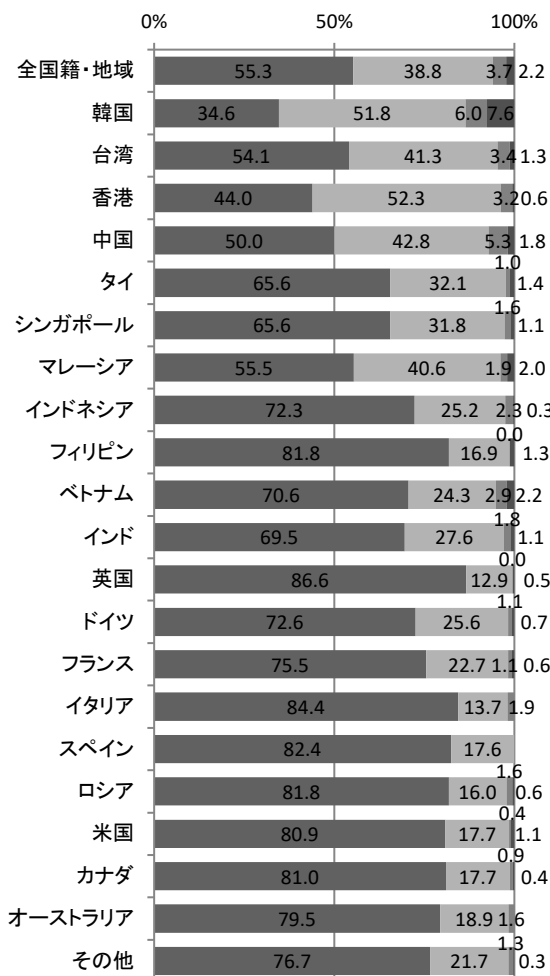
(1) 訪日旅行全体の満足度

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」55.3%、「満足」38.8%である(図表4-1)。
- 国籍・地域別では、フィリピンや英国、イタリア、スペイン、ロシア、米国、カナダで「大変満足」の割合が8割超と高い。

(2) 日本への再訪意向

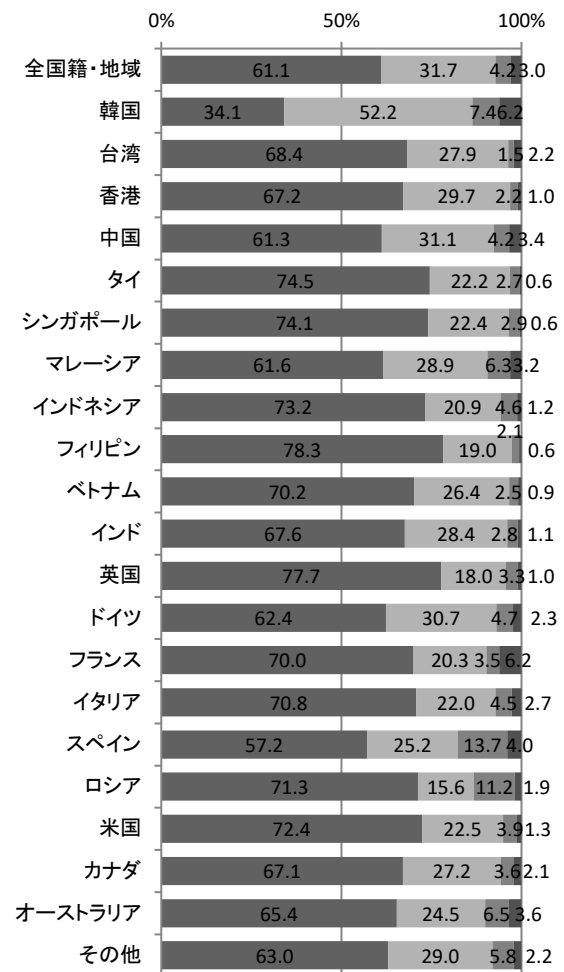
- 日本への再訪意向では、「必ず来たい」が61.1%、「来たい」が31.7%である(図表4-2)。
- 国籍・地域別では、タイやシンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、英国、フランス、イタリア、ロシア、米国で「必ず来たい」の割合が7割以上と高い。

図表 4-1 訪日旅行全体の満足度(国籍・地域別)



■ 大変満足 ■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通・不満

図表 4-2 日本への再訪意向(国籍・地域別)



■ 必ず来たい ■ 来たい ■ やや来たい ■ 何ともいえない・来たくない

(3) 最も満足した購入商品

- 最も満足した購入商品をみると、「菓子類」(19.3%)、「化粧品・香水」(14.4%)、「衣類」(13.2%)の順で高い(図表4-3)。
- 満足した理由をみると、「菓子類」では「美味しい」に加え「お土産に良い・頼まれた」とする回答が多くみられた。「化粧品・香水」「衣類」では「品質が良い」とする回答が最も多いが、「化粧品・香水」では「日本製」や「好きなブランド・商品である」、「衣類」では「デザインが良い・かわいい」とする回答も多くみられた。

図表 4-3 最も満足した購入商品とその理由 (全国籍・地域)

商品区分	【満足した理由】(複数回答)													
	(自由記入による単一回答)	美味しい	品質が良い	自国で入手が難しい	価格が手頃・自国より安い	日本製	伝統的・日本独特	好きなブランド・商品である	デザインが良い・かわいい	人気がある・有名	お土産に良い・頼まれた	便利だから	その他	(%)
菓子類	19.3	78.7	24.4	14.9	8.8	21.7	11.9	9.0	7.7	22.1	37.0	1.6	0.3	
酒類	3.0	63.1	34.2	24.7	16.0	37.7	21.5	10.6	4.0	12.6	16.8	0.8	0.0	
生鮮農産物	1.5	95.4	43.9	12.6	25.0	21.2	5.4	4.9	1.5	3.9	8.1	1.3	0.0	
その他食料品・飲料・たばこ	5.3	68.0	31.7	22.8	17.4	24.4	12.9	7.7	3.1	11.3	17.0	3.5	1.2	
化粧品・香水	14.4	0.0	59.4	10.2	34.1	41.5	2.6	39.7	5.7	21.9	14.7	1.1	0.4	
医薬品	7.1	0.0	67.3	16.3	23.0	40.5	3.3	6.0	0.7	16.1	13.0	3.6	0.3	
健康グッズ・トイレットリー	0.6	0.0	53.1	7.7	24.9	36.8	9.2	17.8	2.4	9.7	10.1	2.8	0.0	
衣類	13.2	0.0	50.5	14.4	31.2	23.8	11.3	23.6	47.9	12.9	6.3	2.5	0.4	
靴・かばん・革製品	7.8	0.0	44.3	14.7	36.7	16.8	4.4	34.6	42.5	15.1	4.6	3.3	0.0	
電気製品	4.0	0.0	67.9	12.6	33.5	39.7	2.3	21.5	13.7	17.5	3.5	10.5	0.4	
時計・フィルムカメラ	2.2	0.0	56.6	6.5	38.6	43.1	2.0	34.9	31.0	14.1	6.5	0.9	0.0	
宝石・貴金属	0.2	0.0	55.2	21.3	40.5	36.7	9.0	18.4	38.0	25.2	18.1	0.0	0.0	
民芸品・伝統工芸品	3.6	0.0	35.7	24.7	11.0	53.6	60.2	4.8	48.0	7.8	20.2	3.8	0.3	
本・雑誌・ガイドブックなど	1.0	0.0	18.6	41.3	13.5	26.0	24.7	16.2	14.1	22.2	3.9	6.7	3.4	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.5	0.0	22.5	56.2	20.6	24.4	1.9	35.2	6.3	13.9	1.8	2.4	0.0	
その他買物代	16.3	0.0	37.9	22.9	18.0	30.1	16.1	24.4	42.9	16.9	14.9	3.8	0.4	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	36.8	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	
全体	100.0	22.1	43.7	16.7	23.0	30.3	11.4	20.7	22.5	16.9	16.5	2.9	0.4	

(4) 最も満足した飲食

- 最も満足した飲食をみると、「肉料理」(26.4%)、「ラーメン」(19.1%)、「寿司」(15.6%)の順で高い(図表4-4)。
- 満足した理由をみると、「美味しい」「食材が新鮮」に加え、「肉料理」「ラーメン」「寿司」では「伝統的・日本独特」「好きな料理・食品である」とする回答も多くみられた。

図表 4-4 最も満足した飲食とその理由 (全国籍・地域)

飲食区分	【満足した理由】(複数回答)													
	(自由記入による単一回答)	美味しい	食材が新鮮	自国で味わうことができない	価格が手頃・自国より安い	量や種類が適切	伝統的・日本独特	好きな料理・食品である	盛り付けの見た目が良い	人気がある・有名	健康に良い	店のサービスや雰囲気	その他	(%)
寿司	15.6	90.6	72.5	9.4	14.2	4.6	28.2	20.8	7.0	12.0	10.1	8.4	0.1	
ラーメン	19.1	94.6	27.2	16.5	12.7	6.9	27.5	22.7	4.7	18.3	3.4	7.6	0.6	
そば・うどん	4.7	91.3	21.6	19.0	12.1	5.7	29.3	19.5	4.1	10.4	8.4	8.1	1.0	
肉料理	26.4	95.4	43.9	18.8	10.8	6.2	20.1	21.8	6.0	15.8	2.6	8.9	0.4	
魚料理	12.5	90.0	71.9	16.0	9.0	4.0	26.3	23.5	8.8	13.4	9.1	7.6	0.1	
小麦粉料理	3.6	91.9	26.4	34.5	12.0	6.9	46.0	16.4	8.5	23.3	4.1	10.9	1.8	
その他日本料理	6.3	90.7	40.5	20.4	8.9	7.9	40.0	20.7	13.5	10.3	9.6	10.1	0.8	
外国の料理	0.8	83.3	30.6	10.4	13.3	8.3	4.8	28.2	3.7	4.8	2.7	8.8	2.8	
その他料理	4.0	89.7	33.2	19.3	11.7	10.8	24.1	24.7	12.2	8.1	4.9	11.2	0.4	
菓子類	3.5	93.6	25.5	19.7	8.4	3.2	24.4	17.4	8.9	16.3	5.9	6.2	0.4	
果物	0.8	94.9	62.6	14.3	9.1	2.9	14.8	10.3	1.5	6.9	7.4	1.3	0.0	
酒	0.9	80.1	18.3	21.0	20.0	4.5	32.0	16.4	1.5	13.6	7.3	7.2	1.7	
その他食料品・飲料	1.9	86.4	28.2	27.3	10.7	2.3	25.9	16.0	4.6	9.2	19.8	3.6	1.8	
全体	100.0	92.5	45.2	17.3	11.5	5.9	26.5	21.4	6.9	14.5	6.1	8.4	0.5	

5. 役に立った旅行情報

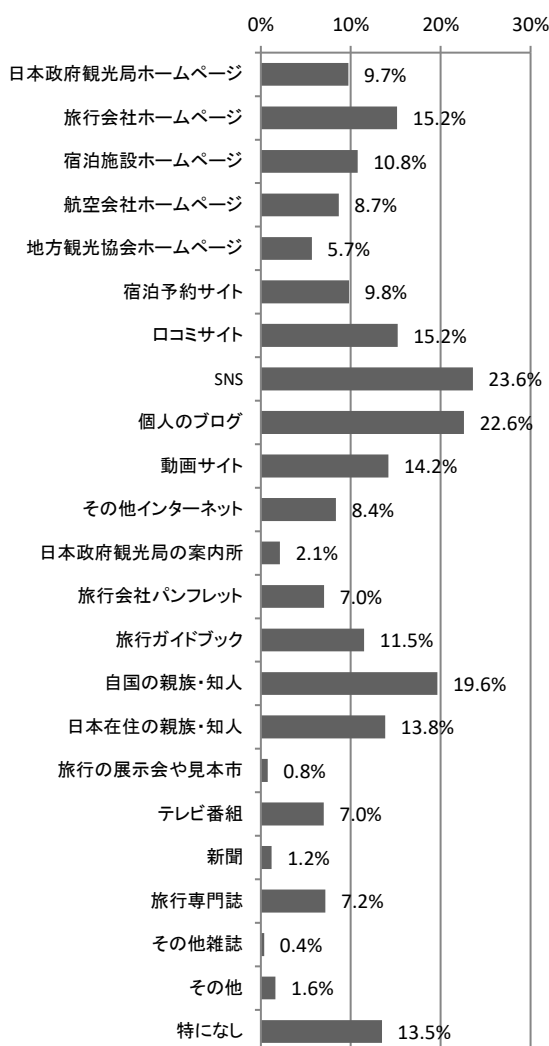
(1) 出発前に得た旅行情報源

- 出発前に得た旅行情報源で役に立ったものは、「SNS」(23.6%)、「個人のブログ」(22.6%)、「自国の親族・知人」(19.6%)の順が多い(図表5-1)。
- 「日本政府観光局ホームページ」の選択率は9.7%、「日本政府観光局の案内所」の選択率は2.1%であった。

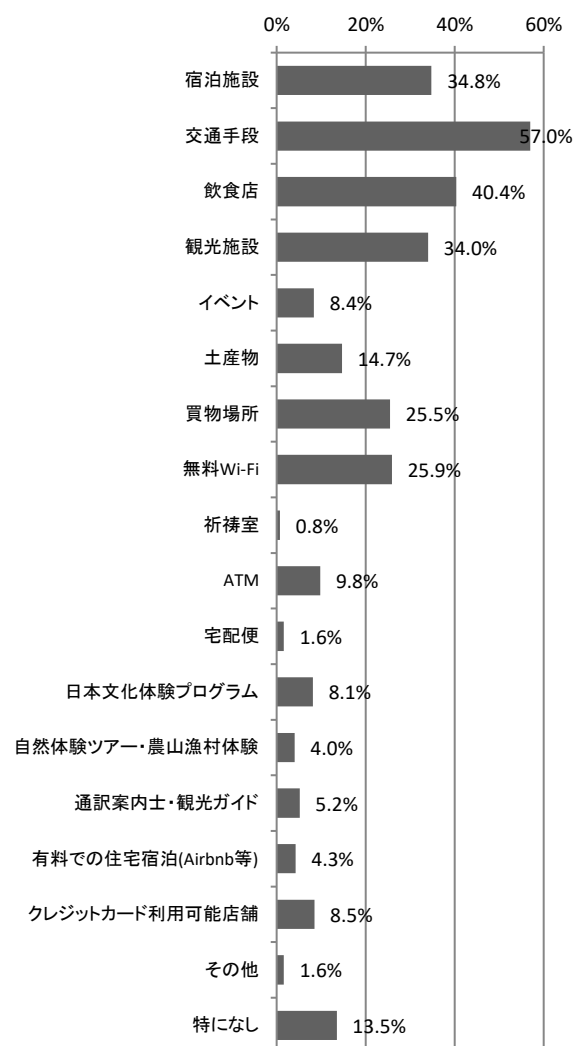
(2) 日本滞在中に得た旅行情報

- 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったものでは、「交通手段」が57.0%と最も多い。次いで「飲食店」(40.4%)、「宿泊施設」(34.8%)、「観光施設」(34.0%)、「無料Wi-Fi」(25.9%)の順が多い(図表5-2)。

図表 5-1 出発前に得た旅行情報源で役に立ったもの
(全国籍・地域、複数回答)



図表 5-2 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったもの
(全国籍・地域、複数回答)

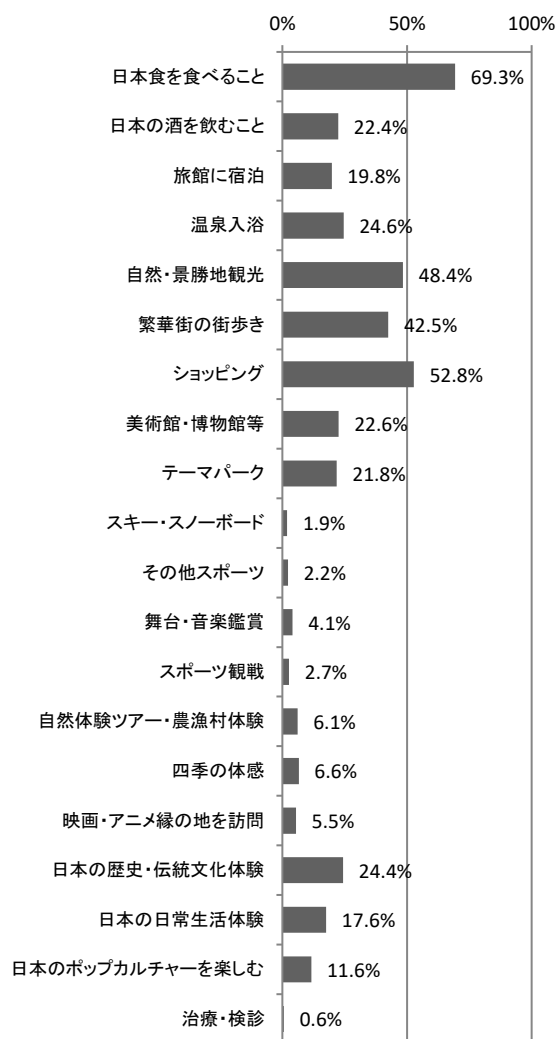


6. 日本滞在中の行動

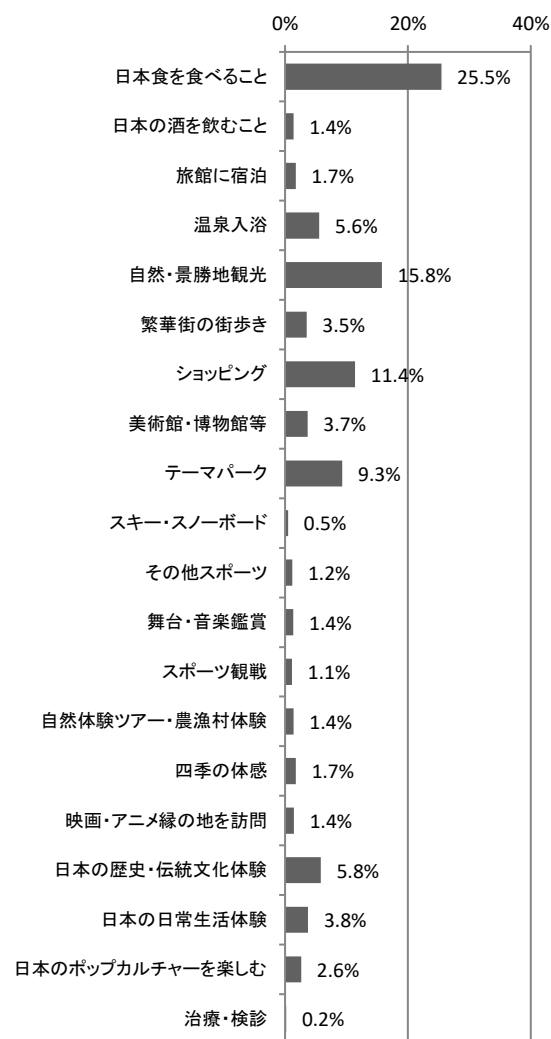
(1) 訪日前に期待していたこと

- 訪日前に期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」が69.3%と最も多かった。次いで「ショッピング」(52.8%)、「自然・景勝地観光」(48.4%)、「繁華街の街歩き」(42.5%)の順が多い(図表6-1)。
- 訪日前に最も期待していたことを単一回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」(25.5%)、「自然・景勝地観光」(15.8%)、「ショッピング」(11.4%)、「テーマパーク」(9.3%)の順となった(図表6-2)。

図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと
(全国籍・地域、単一回答)



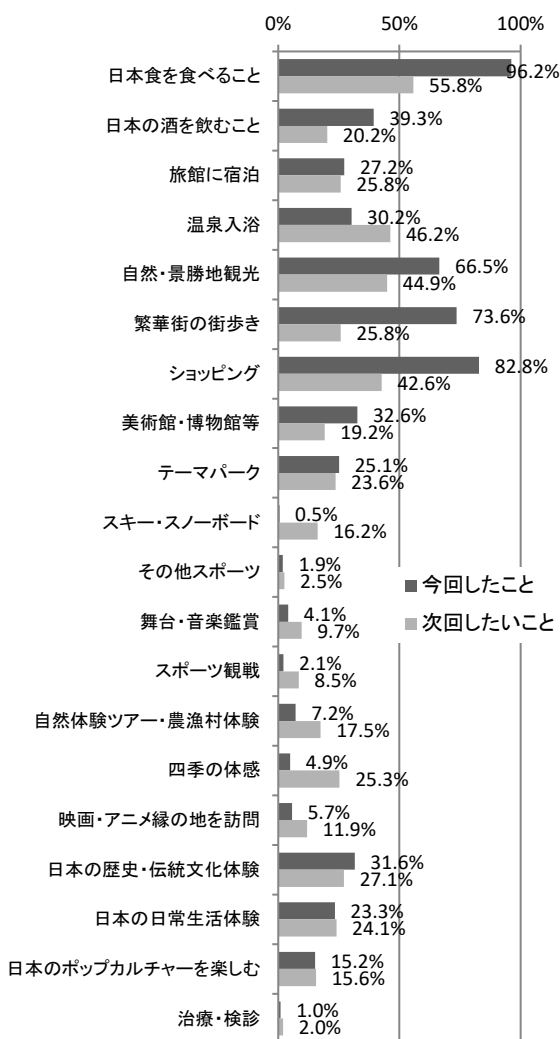
(2) 今回したことと次回したいこと

- 今回の日本滞在中にしたことでは、「日本食を食べること」「ショッピング」「繁華街の街歩き」「自然・景勝地観光」の順で選択率が高い(図表6-3)。
- 次回日本を訪れた時にしたいことでは、「日本食を食べること」「温泉入浴」「自然・景勝地観光」「ショッピング」の順で選択率が高い。

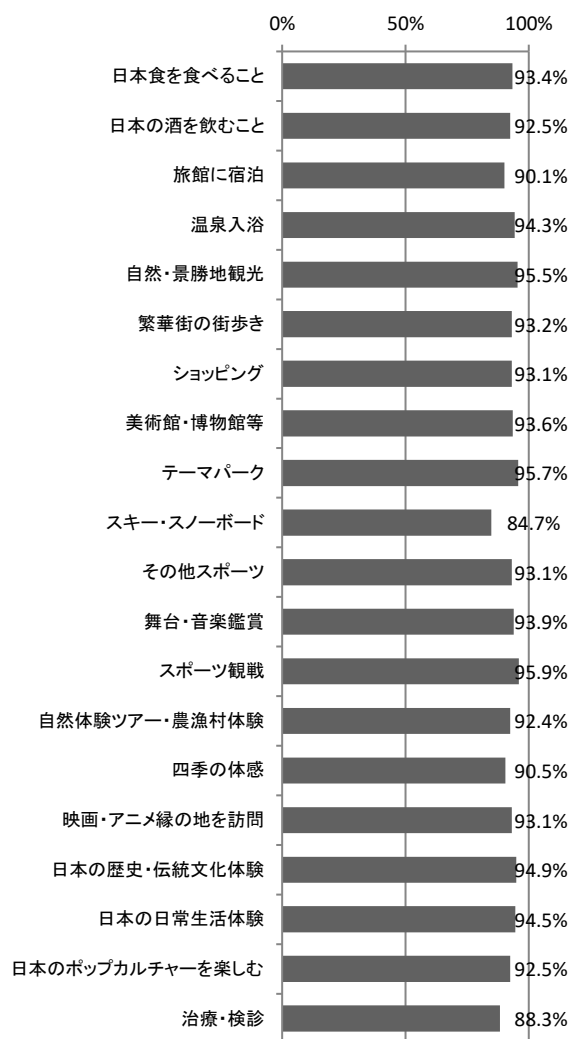
(3) 今回したことへの満足度

- 今回の日本滞在中にしたことの満足度を尋ねた結果、「満足した」と回答した人の割合は「スポーツ観戦」(95.9%)、「テーマパーク」(95.7%)、「自然・景勝地観光」(95.5%)、「日本の歴史・伝統文化体験」(94.9%)、「日本の日常生活体験」(94.5%)の順で多かった(図表6-4)。

図表 6-3 今回したことと次回したいこと
(全国籍・地域、複数回答)



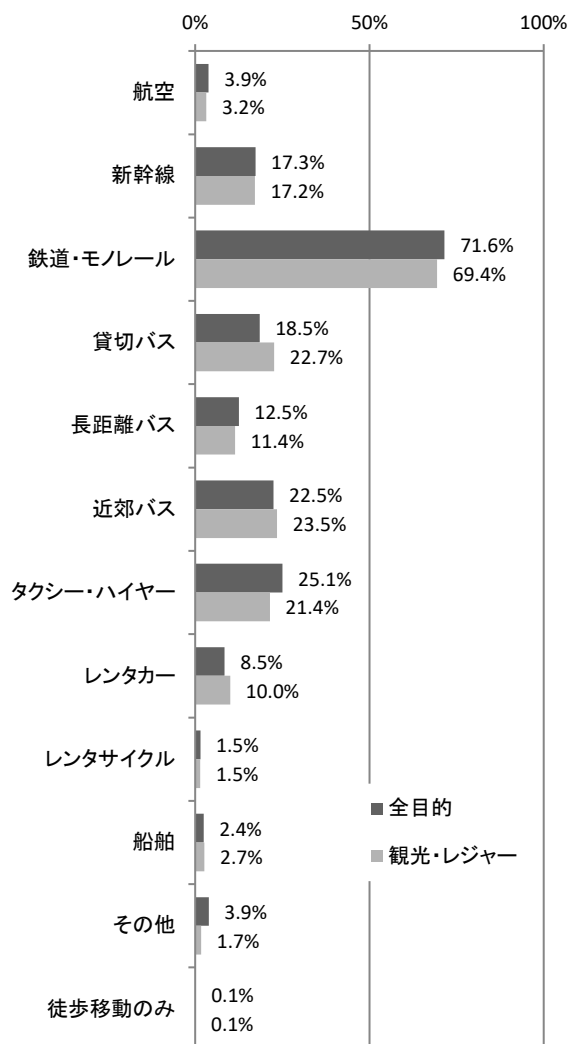
図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
(全国籍・地域、複数回答)



(4) 利用した交通手段

- 利用した交通手段は「鉄道・モノレール」(71.6%)が圧倒的に多く、次いで「タクシー・ハイヤー」(25.1%)、「近郊バス」(22.5%)、「貸切バス」(18.5%)、「新幹線」(17.3%)の順で高い(図表6-5)。

図表 6-5 利用した交通手段
(全国籍・地域、複数回答)



II 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

訪日外国人旅行者の消費動向を明らかにし、外国人観光客誘致に関する施策の企画立案、評価等のための基礎資料を得ることを目的とする。

本調査では、目的に応じて以下に示す3つの調査を四半期毎に実施している。

A 全国調査

日本全体での訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 1 地域調査

訪問地(都道府県)毎に、訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 2 クルーズ調査

船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

(2) 調査の沿革

2010年(平成22年)

4-6月期より調査開始。

2014年(平成26年)

高松空港を調査地点に追加。

インドネシア、フィリピン、ベトナムを調査対象に追加。

調査票の変更(ラウンジ利用や消費税免税手続きに係る設問の追加等)。

2015年(平成27年)

函館空港、小松空港、富士山静岡空港、関門(下関)港、厳原港、鹿児島空港を調査地点に追加。

イタリア、スペインを調査対象に追加。

調査票の変更(申込方法や訪問地毎の支出金額、世帯年収に係る設問の追加等)。

2018年(平成30年)

従来調査(A全国調査)に加え、B1地域調査、B2クルーズ調査を新たに開始。青森空港、茨城空港、富山空港、岡山空港、米子空港、佐賀空港、宮崎空港、境港、長崎港、那覇港を調査地点に追加。

調査票の変更(訪日頻度に係る設問の追加、支出金額の費目細分化等)。

2019年(平成31年、令和元年)

B2クルーズ調査において平良港、石垣港を調査地点に追加。

(3) 調査の根拠法令

本調査は、統計法(平成19年法律第53号)第2条に規定する一般統計として実施した。なお、一般統計の実施と併せ、訪日旅行全体の満足度や再訪意向等の意識調査を同時に行った。

(4) 調査の対象

A 全国調査

日本国内の17空海港(※1)から出国する訪日外国人。

(※1) 新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港(下関)、博多港、厳原港

B 1 地域調査

日本国内の25空海港(※2)から出国する訪日外国人。

(※2) 新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港(下関)、博多港、厳原港

B 2 クルーズ調査

博多港、長崎港、那覇港、平良港又は石垣港に寄港するクルーズ船のうち、同港が日本国内の最終寄港地であるクルーズ船に乗船する訪日外国人であって、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得て同港に上陸した者。

ただし、A全国調査、B1地域調査及びB2クルーズ調査いずれも以下の者を除く。

- 1) 日本に入国していないトランジット客
- 2) 乗員
- 3) 1年以上の滞在者
- 4) 出入国管理及び難民認定法に基づく永住者、永住者の配偶者等及び定住者

(5) 抽出方法

本調査は標本調査であるが、空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて日本から出国する訪日外国人を対象とした聞き取り調査の手法を採用しており、有意抽出法に該当する。したがって、厳密には調査から得られた結果の性質を理論的に評価することはできない。しかし、調査結果を可能な限り母集団の持つ性質に近づけるため、無作為抽出法で一般に用いられる標本設計の手法を適用して標本サイズを決定している。

A 全国調査

A全国調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である17空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の国籍・地域により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 1 地域調査

B1地域調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である25空海港からの出国者数を母集団とする。

訪日外国人の出国港により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地と見込まれるクルーズ船を各調査港における調査対象の候補とする。調査対象候補となるクルーズ船を、次の寄港地（外国）の国・地域毎に層化した上で、予定寄港回数に基づく比例配分法によって調査対象便を抽出する。便毎の調査対象者数は均等割当とし、客層等の偏りを防ぐため1便当たりの回収数上限を50票と設定する。

(6) 目標精度と標本サイズ

A 全国調査

国籍・地域毎の「1人当たり旅行総支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表1のように定めた。

表1 A全国調査の目標精度

国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
韓国	3.0%	780	英国	7.0%	190
台湾	3.0%	610	ドイツ	7.0%	290
香港	3.0%	650	フランス	7.0%	140
中国	3.0%	1,000	イタリア	10.0%	80
タイ	5.0%	300	スペイン	10.0%	70
シンガポール	7.0%	140	ロシア	10.0%	110
マレーシア	7.0%	360	米国	3.0%	1,250
インドネシア	7.0%	220	カナダ	7.0%	220
フィリピン	7.0%	250	オーストラリア	5.0%	240
ベトナム	7.0%	350	その他	5.0%	320
インド	10.0%	260	合計		7,830

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）調査結果を用いて導出した。その結果、A全国調査の標本サイズは各四半期7,830票となった。なお、調査港（出国港）毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎の「1人1泊当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表2のように定めた。

表2 B1地域調査の目標精度

都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
北海道	5.0%	250	三重県	15.0%	60
青森県	15.0%	50	滋賀県	10.0%	120
岩手県	15.0%	60	京都府	5.0%	420
宮城県	15.0%	60	大阪府	5.0%	360
秋田県	15.0%	50	兵庫県	10.0%	190
山形県	15.0%	50	奈良県	15.0%	170
福島県	15.0%	60	和歌山県	10.0%	90
茨城県	15.0%	80	鳥取県	15.0%	50
栃木県	15.0%	60	島根県	15.0%	60
群馬県	15.0%	50	岡山県	15.0%	60
埼玉県	15.0%	90	広島県	10.0%	80
千葉県	10.0%	1,270	山口県	15.0%	50
東京都	5.0%	570	徳島県	15.0%	60
神奈川県	10.0%	190	香川県	15.0%	60
新潟県	15.0%	80	愛媛県	15.0%	70
富山県	15.0%	50	高知県	15.0%	70
石川県	10.0%	80	福岡県	10.0%	50
福井県	15.0%	50	佐賀県	15.0%	120
山梨県	10.0%	170	長崎県	10.0%	120
長野県	10.0%	120	熊本県	10.0%	140
岐阜県	10.0%	70	大分県	10.0%	70
静岡県	10.0%	150	宮崎県	15.0%	50
愛知県	10.0%	110	鹿児島県	10.0%	60
			沖縄県	5.0%	230

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ(目標回収数)を、2016年(平成28年)予備調査の結果を用いて導出した。各都道府県訪問者の出現率は出国港によって異なるため、標本サイズに出現率の逆数を乗じて調査港(出国港)毎の必要回収数を算出し、B1地域調査の標本サイズは各四半期26,174票となった。なお、訪日外国人の国籍・地域毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B2クルーズ調査

調査港(国内最終寄港地)毎の「1人当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度(推定値の標準誤差率)を表3のように定めた。

表3 B2クルーズ調査の目標精度

最終寄港地 (3区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
博多港	5.0%	430
長崎港	5.0%	530
那覇・平良・石垣港	5.0%	430
総数		1,390

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ(目標回収数)を、2016年(平成28年)に実施した予備調査の結果を用いて導出した。その結果、B2クルーズ調査の標本サイズは各四半期1,390票となった。

(7) 調査事項

A 全国調査

入国日、入国した空海港、在留資格、国籍・地域、居住地、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、前回の来訪時期、過去1年間の来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、申込方法、ツアー料金又は個別手配者の往復航空(船舶)料金、旅行手配方法、ツアー料金に含まれるサービス、日本滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、世帯年収、その他意識調査

B1地域調査及びB2クルーズ調査

国籍・地域、入国日、主な来訪目的、旅行手配方法、ツアー料金又は個別手配者の往復航空(船舶)料金、入国港、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、費目別支出、利用した交通手段、買物場所、利用した決済方法、性別、年齢、在留資格、その他意識調査

(8) 調査の時期

2019年7月9日(火)～9月20日(金)

(9) 調査の方法

調査対象空海港の出国ロビーにいる訪日外国人に調査員が協力を求め、タブレット端末又は紙調査票を示しつつ、聞き取る方式(他計方式)により行う。

調査票対応言語

英語、韓国語、中国語(繁体字、簡体字)、タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、以上12言語

2. 用語の解説

(1) 主要項目

一般客

クルーズ客（後述）を除く訪日外国人。

クルーズ客

出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得た訪日外国人。

注）訪日旅行の往復に航空機等を利用し、日本国内発着のクルーズ船を利用した訪日外国人は一般客に含まれる。

団体ツアー

旅行会社等が企画したツアーで、大半の旅程を団体で行動するもの。

個人旅行向けパッケージ商品

個人旅行者向けに、往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった旅行商品。

個別手配

団体ツアーや個人旅行向けパッケージ商品を利用せず、往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配すること。

購入率

ある商品やサービスを購入した人の割合。

購入者単価

ある商品（又はサービス）を購入した人を分母として算出される、その商品（又はサービス）を購入する際に支払った支出金額の平均値。当該商品（又はサービス）を購入していない人も含めて算出される支出金額の平均値（費目別旅行消費単価）とは区別して使用される。

旅行前支出

団体ツアー参加者及び個人旅行向けパッケージ商品の利用者についてはパッケージツ

アー参加費が旅行前支出となる。一方、個別手配者については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃が旅行前支出となる。

旅行中支出

宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代等、訪日外国人が日本滞在中に支払った支出金額。宿泊費や交通費などで旅行前に決済された場合でも旅行中支出に含まれるが、パッケージツアー参加費に含まれる支出金額は含まれない。

旅行総支出

旅行前支出と旅行中支出の合計。

パッケージ内訳

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費等の国内収入分。回答者から直接報告を得ることができないため、観光・レジャー目的の個別手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて推計する。

旅行支出

旅行中支出にパッケージ内訳を加算した金額。

旅行消費単価

1人当たり支出の総称であり、旅行中支出又は旅行支出の意。集計表の表題に使用している。

訪日外国人旅行消費額

旅行消費単価に旅行者数を乗じることにより推計される総額。

地方運輸局等

以下に示す10の地域区分。それぞれの地域区分に含まれる都道府県は以下の通り。

【1. 北海道】北海道

【2. 東北】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【3. 関東】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

【4. 北陸信越】新潟県、富山県、石川県、
長野県

【5. 中部】福井県、岐阜県、静岡県、愛知
県、三重県

【6. 近畿】滋賀県、京都府、大阪府、奈良
県、和歌山県、兵庫県

【7. 中国】鳥取県、島根県、岡山県、広島
県、山口県

【8. 四国】徳島県、香川県、愛媛県、高知
県

【9. 九州】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本
県、大分県、宮崎県、鹿児島県

【10. 沖縄】沖縄県

(2) 支出費目

a. 宿泊費

ホテル、旅館、国民宿舎、モーテル、簡易宿泊所、山小屋、下宿屋、保養所、ユースホステル、ゲストハウス、会員制の宿泊施設（タイムシェア、バケーションレンタルを含む）、有料での住宅宿泊、合宿所、長期滞在者の家賃

注) パッケージツアー料金に含まれる宿泊費は含まれない。出発前にインターネット等で決済したものを含む。日本国外での宿泊費は含まれない。

b. 飲食費

食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、ハンバーガー店、飲食系の移動販売、配達飲食サービス

注) パッケージツアー料金又は宿泊費に含まれる飲食費は含まれない。弁当等を購入して持ち帰った場合には e4. その他食料品・飲料・酒・たばこに分類。

c. 交通費

c1. 航空

飛行機（日本国内の移動のみ）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の航空運賃は含まれない。

c2. Japan Rail Pass

JR グループ各社が外国人旅行者向けに提供している特別企画乗車券

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。「Japan Rail Pass」に加え、外国人旅行者向け JR 特別企画乗車券を含む。

c3. 新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール

JR、鉄道、路面電車、地下鉄、モノレール、案内軌条式鉄道（ゆりかもめ等）、鋼

索鉄道（ケーブルカー）、索道（ロープウェイ等、ただしスキー場におけるものを除く）、交通系電子マネーのカード購入費、フリー乗車券（c2. Japan Rail Pass に該当するものを除く）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スキー場におけるリフト・ロープウェイ等の利用料金は d7. スキー場リフトに分類。

c4. バス

乗合バス（路線バス、長距離バス等）、貸切バス（団体観光バス等）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c5. タクシー

ハイヤー、タクシー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c6. レンタカー

レンタカー、レンタルバイク

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。ガソリン代や有料道路料金、有料駐車場料金は c8. その他交通費に分類。

c7. 船舶

船舶（日本国内の移動のみ）、遊覧船

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の船舶運賃は含まれない。貸ボートは d11. レンタル料、遊漁船は d12. その他娯楽等サービス費に分類。

c8. その他交通費

高速道路・有料道路・橋・トンネル等の通行料、駐車場料金、ガソリン代

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d. 娯楽等サービス費

d1. 現地ツアー・観光ガイド

日本国内での現地ツアー、観光案内（ガイド）

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d2. ゴルフ場

次の施設利用料：ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、テニス場、フィットネスクラブ、プール、アイススケート場

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ観戦料は d5. **スポーツ観戦** に分類。

d3. テーマパーク

次の入場料：テーマパーク、遊園地、公園

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d4. 舞台・音楽鑑賞

次のチケット料金：音楽コンサート、演劇、歌舞伎、寄席、サーカス

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d5. スポーツ観戦

次のチケット料金：相撲・サッカー・野球・ボクシング・プロレス・ゴルフの観戦

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ施設利用料は d2. **ゴルフ場** に分類。

d6. 美術館・博物館・動植物園・水族館

次の入場料：美術館、博物館、動物園、植物園、水族館、公民館、図書館、城、プラネタリウム

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d7. スキー場リフト

スキー場における索道（リフト・ロープウェイ等）の利用料金

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d8. 温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション

スーパー銭湯、温泉浴場、砂湯、スパ、健康ランド、ネイルサロン、エステティックサロン、ボディケア、ハンドケア、フットケア、アロマオイルトリートメント、タラソセラピー

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d9. マッサージ・医療費

あん摩マッサージ、指圧マッサージ、はり、きゅう、病院・医院・診療所での診療、整体等の医業類似行為

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。処方薬の購入は e6. **医薬品** に分類。

d10. 展示会・コンベンション参加費

次の参加費：展示会、コンベンション、見本市、博覧会、品評会、学会、その他会議

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d11. レンタル料

次のレンタル料：スキーウェア、スキー板、スノーボード板、スケート靴、スポーツ用品、自転車（レンタサイクル）、テント、ボート、ヨット、衣装、ビデオ、本、医療・福祉用具等

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d12. その他娯楽等サービス費

公営競技（競馬・競輪等）の入場料・投票券（馬券・車券等）、映画館、ビリヤード場、囲碁・将棋所、マージャンクラブ、パチンコホール、ゲームセンター、ダンスホール、マリナー、遊漁船、芸妓（げいぎ）、カラオケボックス、釣堀、銀行やATMの手数料、両替手数料、保険料、学校、専門学校等の授業料、託児サービス・介護サービスの利用料、コインシャワー、コインランドリー、クリーニング、理容店、美容院、ラウンジ利用料、手荷物預かり所、写真現像等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

e. 買物代

e1. 菓子類

キャラメル、ドロップ、キャンデー、チョコレート、チューインガム、焼菓子、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、その他菓子類

e2. 酒類

酒全般：清酒、みりん、ビール、発泡酒、ウイスキー類、果実酒類、合成清酒、焼酎、スピリッツ、リキュール

注) 飲食店等で消費した場合は **b. 飲食費** に分類。宿泊費に含まれている飲食費は **a. 宿泊費** に計上。

e3. 生鮮農産物

野菜（きのこを含む）、果物、花、種苗等

注) 卵・肉等の畜産物、魚等の水産物、加工食品は **e4. その他食料品・飲料・たばこ** に分類。

e4. その他食料品・飲料・たばこ

・ **e1. 菓子類**～**e3. 生鮮農産物**を除く食料品全般：卵、肉類、魚介類、缶詰・瓶詰、乳製品、冷凍食品、食用油、精米、乾めん、即席めん、マカロニ・スパゲッティ、生めん、

パン、ジャム、はちみつ、調味料・香辛料、みそ、レトルト食品、即席ラーメン、総菜、弁当、豆腐、納豆、健康食品

・ 酒類を除く飲料全般：緑茶（茶葉）、紅茶（茶葉）、ウーロン茶（茶葉）、コーヒー（豆又は挽いたもの）、炭酸飲料、果実飲料、緑茶飲料、紅茶飲料、ウーロン茶飲料、コーヒー飲料、麦茶飲料、豆乳、ミネラルウォーター、スポーツドリンク、栄養ドリンク

・ たばこ全般：紙巻たばこ、葉巻たばこ等

注) 飲食店等で消費した場合は **b. 飲食費** に分類。宿泊費に含まれている飲食費は **a. 宿泊費** に計上。

e5. 化粧品・香水

香水、オーデコロン、頭髮用化粧品（シャンプー、ヘヤーリンス、養毛剤、整髪料等）、皮膚用化粧品（クリーム、乳液、化粧水、パック等）、仕上用化粧品（ファンデーション、口紅、アイメイクアップ等）、日やけ止め、ひげそり用化粧品、歯磨剤

注) 歯ブラシ、化粧用ブラシは **e16. その他買物代** に分類。

e6. 医薬品

医薬品（風邪薬、胃腸薬、湿布薬、目薬等）、調剤薬局での処方薬、腋臭防止剤、洗眼薬、虫除け、外用消毒剤、軟膏剤、ビタミン剤等サプリメント、その他医薬部外品

e7. 健康グッズ・トイレタリー

マッサージ用具（電気製品でないもの）、美顔用具（電気製品でないもの）、エクササイズ用具（電気製品でないもの）、アイマスク、爪切り、磁気ネックレス、石けん・合成洗剤、界面活性剤、柔軟仕上げ剤、医療用ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、綿棒、紙タオル、紙ナプキン、紙おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の紙製衛生用品

e8. 衣類

衣服、スポーツ用衣服、下着・寝着類、コート、レインコート、帽子、毛皮製衣服、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチーフ、靴下、手袋、帽子、和服（着物、浴衣）、帯、足袋類等の和装製品

e9. 靴・かばん・革製品

靴・履物、スポーツ用靴（登山靴、スケート靴、ゴルフ靴等）、スリッパ、サンダル、かばん、ハンドバッグ、リュック、ランドセル、スーツケース、名刺入れ、財布、ベルト、腕時計用革バンド

e10. 電気製品

デジタルカメラ、ビデオカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、ディスプレイ・モニター、外部記憶装置、プリンタ、炊飯器、ジャーポット、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、電磁調理器、エアコン、扇風機、電気温水器、除湿器、加湿器、空気清浄機、電気アイロン、掃除機、洗濯機、洗濯物乾燥機、電気温水洗浄便座、電気ドライヤー、電気シェーバー、電気ストーブ、電気カーペット、電気マッサージ器具、ランプ、携帯電灯、懐中電灯、乾電池、蓄電池、ステレオセット、デジタルオーディオディスクプレイヤー、補聴器、スピーカ、マイクロホン、イヤホン、テレビ、ラジオ、電話機、ファクシミリ、携帯電話機、カーナビゲーションシステム、電気製品の部品

e11. 時計・フィルムカメラ

腕時計、置時計、ストップウォッチ、タイマー時計、時計の部品、フィルムカメラ、インスタントカメラ、カメラレンズ、カメラ付属品（ストロボ、三脚等）、望遠鏡、双眼鏡

e12. 宝石・貴金属

宝石（天然宝石、真珠等）や貴金属（金、銀、プラチナ等）が主体である以下の製

品：アクセサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）、メダル、貴金属製たばこケース、貴金属製ナイフ・フォーク・スプーン・皿等の洋食器類、その他の身近細貨品

e13. 民芸品・伝統工芸品

日本の地域独自の手工芸品に該当する以下の製品：織物、染色品、陶磁器、漆器、ガラス容器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具（筆、墨、硯、そろばん）、石工品、人形、玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、工芸用具、工芸材料、アクセサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）

e14. 本・雑誌・ガイドブックなど

新聞、書籍、マンガ、雑誌、定期刊行物、その他の出版物、絵葉書、ポスター

e15. 音楽・映像・ゲームなどソフトウェア

音楽や映像等のコンテンツが記録されているメディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ、レコード等）、ゲームソフト、コンピュータソフト（CD、DVD等）、有料アプリ

e16. その他買物代

寝具、じゅうたん・カーペット、タオル、カーテン、クッション、家具、文房具、箸（はし）、台所用品（包丁、まな板等）、食器、アクセサリー、乗用車・二輪自動車・自転車とその部品、空の記録メディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ等）、玩具（おもちゃ）、ゲーム機、楽器、歯ブラシ、化粧用ブラシ、清掃用品（ほうき、はたき、モップ）、洋傘、マッチ、たばこ用ライター、模型（地球儀、食品模型）、魔法瓶、線香類、眼鏡、眼鏡わく、眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、カメラフィルム等

注) e12. 宝石・貴金属又は e13. 民芸品・伝統工芸品に相当するものを除く。

f. その他

郵便、宅配便の利用料金、公衆電話、携帯電話等の通話料金、その他 (a. 宿泊費から e. 買物代までに相当しないもの)

注) 現地ツアー料金に含まれる保険料は d1. 現地ツアー・観光ガイドに計上。電話機本体の購入は e10. 電気製品に分類。

(3) 買物場所

百貨店・デパート

原則として百貨店協会加盟の店舗

家電量販店

PCやカメラ、電気製品を専門に販売する店舗

ファッション専門店

服・鞆・靴・アクセサリ・高級腕時計等を専門に販売する店舗

100円ショップ

店内の商品を原則として1点100日本円均一で販売する形態の小売店

高速道路のSA・道の駅

高速道路のサービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)、国土交通省に登録されている「道の駅」

観光地の土産店

観光地内にある小売店

宿泊施設

旅館・ホテル等の館内に併設されている土産店

スーパーマーケット

高頻度に消費される食料品や日用品等をセルフサービスで短時間にも買えるようにした小売店舗

コンビニエンスストア

年中無休で長時間の営業を行い、小規模な店舗において主に食品、日用雑貨等多数の品種を扱う形態の小売店

ドラッグストア

医薬品や化粧品、トイレタリーを中心とし、併せて日用品や文房具、食料品等を扱う店舗

ディスカウントストア

一時的なセールではなく常に低価格で商品を提供する安売り店舗で、一般的には生鮮食料品を除く生活用品を総合的に取り扱う

アウトレットモール

「メーカー品」(通常、メーカーのブランド名を表示したもの)や、「高級ブランド品」(通常、百貨店等で高額でも購入者がつき、販売可能なもの)を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンター

都心の複合商業施設

都心部に立地し、商業施設や飲食施設、映画館、遊技場等の娯楽施設等が一体的に整備された施設

その他ショッピングセンター

複数の小売店舗が入居する商業施設で、上記の買物場所に当てはまらないもの

鉄道駅構内の店舗

駅構内にある小型売店

注) 駅ビルは「百貨店・デパート」に含まれる。

空港の免税店

空港の制限区域内にあるブランドショップ

クルーズ寄港港湾内の店舗

クルーズ船が寄港する港の旅客施設内に設置されている小売店舗(臨時店舗を含む)

その他

上記に当てはまらない買物場所(書店、CD・DVD・レコード販売店、家具屋、観光施設内にある店舗、アンテナショップ、郵便局、質屋・金券ショップ等)

3. 調査の結果

(1) 表章事項

A 全国調査及び B 1 地域調査

国籍・地域別、居住地別ならびに訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の3つの集計区分毎に、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。加えて、国籍・地域別の消費税に係る免税手続き実施状況、国籍・地域別及び出国港別の都道府県別訪問率を表章している。

参考として、パッケージツアー参加費内訳を含む旅行消費単価や、訪日旅行に関する意識について国籍・地域別の集計を行っている。また、主な来訪目的が「観光・レジャー」の旅行者に限定して、国籍・地域別及び訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の集計区分による集計も行っている。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地別を集計区分とし、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。

(2) 集計方法

ウェイトバック集計

本調査の回答数は訪日外国人の「国籍・地域」や帰国時に利用する「出国港」によって区分される層毎で標本の抽出率が異なる。そのため、集計結果を母集団の構成に合わせることを目的として、集計表の作成にあたってはウェイトバック（重み付け）を施している。四半期調査結果では、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」ならびに法務省「出入国管理統計」の単純出国者数をウェイトとして使用している。

なお、集計表中に統計精度の参考値として「回答数」を付記しているが、これは回収された回答数を単純に計数したものであり、ウェイトバックを施していない。そのため、ウェイトバック集計により算出された「構成比」や「購入率」「選択率」などの統計値と、「回答数」を元に算出するこれらの数値は一致しない点に留意されたい。

当該ウェイトバック集計の算出式は次の通りである。

$$X = \frac{\sum_i x_i N_i}{\sum_i N_i}$$

X ：全体（全国籍・地域）の統計値

x_i ：層 i の統計値

N_i ：層 i の訪日外客数

さらに、A全国調査とB 1地域調査の整合を図るため、B 1地域調査から導出される集計表については、以下の数値に関してA全国調査の結果と一致するようにウェイトの調整を行っている。

- ・国籍・地域（21区分）及び主な来訪目的（3区分）別の旅行者数
- ・国籍・地域（21区分）及び主な来訪目的（2区分）別の旅行中支出（総額、大費目別）

旅行支出の円換算

旅行支出については、円又は自国の通貨で調査し、原則としてIMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMFにデータがない通貨のうち、ニュー台湾ドル及び香港ドルについてはFRB（連邦準備制度理事会）、インドネシア・ルピアおよびベトナム・ドンについては財務省貿易統計の資料を基に円換算を作成した。

(3) 調査結果の精度

A 全国調査

表4 国籍・地域別1人当たり旅行総支出

国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数	国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数
韓国	4.6%	881	英国	3.4%	213
台湾	2.2%	681	ドイツ	3.0%	315
香港	3.0%	719	フランス	5.0%	174
中国	1.9%	1,098	イタリア	5.0%	108
タイ	6.1%	347	スペイン	5.4%	95
シンガポール	3.8%	193	ロシア	7.1%	122
マレーシア	3.2%	382	米国	2.2%	1,313
インドネシア	4.4%	254	カナダ	4.0%	245
フィリピン	4.9%	265	オーストラリア	3.9%	264
ベトナム	5.4%	374	その他	4.1%	353
インド	4.3%	282	総数		8,678

B 1 地域調査

表5 訪問地別1人1泊当たり旅行中支出

都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数	都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数
北海道	2.5%	1,609	三重県	15.8%	147
青森県	10.0%	159	滋賀県	11.8%	108
岩手県	12.5%	80	京都府	2.2%	3,071
宮城県	8.2%	211	大阪府	2.2%	4,552
秋田県	13.5%	75	兵庫県	9.5%	350
山形県	11.8%	58	奈良県	10.7%	449
福島県	14.5%	49	和歌山県	5.6%	250
茨城県	10.8%	109	鳥取県	9.1%	94
栃木県	6.5%	196	島根県	18.7%	41
群馬県	12.2%	92	岡山県	9.6%	222
埼玉県	8.9%	183	広島県	3.4%	799
千葉県	4.7%	1,006	山口県	11.3%	80
東京都	1.7%	7,521	徳島県	9.2%	77
神奈川県	3.9%	1,090	香川県	5.2%	326
新潟県	9.1%	109	愛媛県	9.1%	117
富山県	9.8%	240	高知県	13.3%	51
石川県	10.0%	512	福岡県	2.3%	1,856
福井県	18.0%	52	佐賀県	7.3%	174
山梨県	4.9%	1,348	長崎県	5.1%	333
長野県	6.2%	541	熊本県	4.4%	449
岐阜県	5.0%	590	大分県	4.3%	512
静岡県	7.0%	1,091	宮崎県	7.0%	123
愛知県	3.4%	2,485	鹿児島県	4.9%	235
			沖縄県	4.4%	407
			総数		26,869

B 2 クルーズ調査

表6 国内最終寄港地別1人当たり旅行中支出

最終寄港地 (3区分)	標準 誤差率	有効 回答数
博多港	6.5%	501
長崎港	5.5%	611
那覇・平良・石垣港	5.3%	461
総数		1,573

(4) 利用上の注意

- 2018年より調査方法を変更したため、2017年までの数値との比較には留意が必要である。
- 各数値はウェイトバック集計後に四捨五入をしており、全体の数値と内訳の合計とは一致しない場合がある。
- 集計表で使用されている「-」は、該当する回答者のいない層（又は集計対象外の層）であることを示している。
- 集計事項により回答数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。
- 都道府県、地方運輸局等別の訪問地には、出入国空海港の所在地が含まれる。

<集計表>

【一般客（全目的）】

表 1-1	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-2	居住地（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 2-1	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-2	居住地（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 3-1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-2	居住地（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-4	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 泊当たり旅行消費単価	
表 4-1	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
表 4-2	居住地（21 区分）別	平均泊数	
表 4-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	
表 5-1	国籍・地域（21 区分）別	消費税に係る免税手続き実施状況	
表 6-1	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
表 6-2	出国港（25 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 2	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 3	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	

【一般客（観光・レジャー目的）】

参考 4	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 5	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 6	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 7	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
参考 8	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 9	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 10	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 11	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	
参考 12	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 13	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 14	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 15	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	

【クルーズ客（船舶観光上陸許可を得た外国人）】

表 7-1	国内最終寄港地（3 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 7-2	国内最終寄港地（3 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 7-3	国内最終寄港地（3 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 7-4	国内最終寄港地（3 区分）別	都道府県別訪問率	

日本語、英語、韓国語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）

訪日外国人の消費動向
2019年7-9月期（速報） 報告書

発行 2020年1月

編集 国土交通省観光庁
観光戦略課観光統計調査室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

電話 代表 03 (5253) 8111

内線 27223、27230

直通 03 (5253) 8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>